

「女性活躍推進策」についての 認知度・期待度調査

2015.6

株式会社サンケイリビング新聞社
株式会社リビングくらしHOW研究所

➤ 調 査 票	-----	3～4 P
➤ 調査概要、回答者プロフィール	-----	5 P
➤ 各施策についての認知度(全体サマリー)	-----	6 P
➤ 各施策についての認知度(年代別・働き方別)	-----	7～17 P
➤ 各施策についての期待度(全体サマリー)	-----	18 P
➤ 各施策についての期待度(年代別・働き方別)	-----	19～29 P
➤ 詳しく知りたい施策とその理由 フリーアンサー抜粋	-----	30 P
➤ 施策への自由意見 フリーアンサー抜粋	-----	31～32 P

政府の女性活躍推進への取り組みについてのアンケート

Q1 次に挙げる政府の取り組みについて、あなたは、どれくらい知っていますか？

	知っている	聞いたことはある がよく分からない	全く知らない
子育てしながら就職を希望する人の支援拠点の拡大 マザーズハローワークやマザーズコーナーを拡大。数を増やし、キッズコーナーを整備、地域の保育園情報も提供			
無料の託児付き再就職支援セミナーを充実			
「仕事と育児カムバック支援サイト」 仕事復帰の不安を解消しスキル回復などサポート情報を総合的に提供。 専門相談員が復帰、再就職の悩みにWebで回答			
「女性の活躍応援ポータルサイト」 女性のライフステージや多様な生き方・働き方に対応する様々な支援情報を一元的に提供する総合的な情報プラットフォーム			
研修・職業紹介一体型の再就職応援 民間の就職支援会社が無料で、研修や職業紹介をワンストップでサポート			
トライアル雇用 ブランクがあり不安のある人が正社員として就職しやすくなるよう、3 か月間を上限にトライアル雇用(試行雇用)として働いてみるができる			
公的職業訓練(女性再就職支援コース、託児サービス拡充) ハローワークで求職中の人を対象に、就職に必要な技能や知識を身に付けるための様々な公的職業訓練を無料で実施			
専門資格等を生かした再就職支援 ハローワークで、介護・看護・保育分野の就職支援を強化など			
在宅ワークに関する総合支援サイト(HOME WORKERS WEB) 在宅ワークを始めたい方へ役立つ情報を提供			
子育て経験等を活かした「子育て支援員」研修 子育て経験豊かな人が地域で活躍できるよう、都道府県や市町村などで「子育て支援員」の研修を実施			
起業の知識を習得できる「創業スクール」開催			
未来の企業★応援サイト(ミラサポ) 起業したい人や小規模な事業を運営する人のために、国や公的機関の補助金情報などを一元的に掲載。ウェブ上で事業経営に役立つ情報を得られる			
保育の待機児童解消加速化プラン 平成27年度はプラス約8万人分、29年度までに約20万人分の受け皿を新たに用意			
放課後子ども総合プラン 「小1の壁」打破のために放課後児童クラブを平成31年度までに約30万人分を新たに整備			
男性の家事・子育てへの参加を促進、男性の意識と職場風土の改革 イクメン・イクボスなどの表彰、セミナーの実施など			
仕事と家庭の両立支援に向けた、企業の取り組みを促進 両立を支援し女性の活躍を推進する企業にインセンティブを付与する、育休の取得や育休からの復帰を支援する事業主への助成を行うなど			
妊娠・出産などによる、不利益な取り扱いが起こらない職場づくり			
企業における女性活躍の迅速で重点的な推進 女性管理職登用に向けた研修実施への助成や、女性活躍の現状の実態や情報を開示し、課題を達成するための目標・行動計画を策定・公表した事業主へのインセンティブの付与			
企業の有価証券報告書に役員の男女別人数と女性比率の記載を義務付ける			
正社員実現加速化プロジェクト 派遣労働者の正社員への転換や、勤務地・職務などを限定した「多様な正社員」の導入などを支援			
働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し 103万円の壁、130万円の壁などの社会保障制度や配偶者手当等について、総合的に検討する			

Q2 次に挙げる政府の取り組みについて、あなたは、どれくらい期待していますか？

	大いに期待している	まあ、期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	全く期待していない
子育てしながら就職を希望する人の支援拠点の拡大 マザーズハローワークやマザーズコーナーを拡大。数を増やし、キッズコーナーを整備、地域の保育園情報も提供					
無料の託児付き再就職支援セミナーを充実					
「仕事と育児カムバック支援サイト」 仕事復帰の不安を解消しスキル回復などサポート情報を総合的に提供。専門相談員が復帰、再就職の悩みにWebで回答					
「女性の活躍応援ポータルサイト」 女性のライフステージや多様な生き方・働き方に対応する様々な支援情報を一元的に提供する総合的な情報プラットフォーム					
研修・職業紹介一体型の再就職応援 民間の就職支援会社が無料で、研修や職業紹介をワンストップでサポート					
トライアル雇用 ブランクがあり不安のある人が正社員として就職しやすくなるよう、3 か月間を上限にトライアル雇用（試用雇用）として働いてみるができる					
公的職業訓練（女性再就職支援コース、託児サービス拡充） ハローワークで求職中の人を対象に、就職に必要な技能や知識を身に付けるための様々な公的職業訓練を無料で実施					
専門資格等を生かした再就職支援 ハローワークで、介護・看護・保育分野の就職支援を強化など					
在宅ワークに関する総合支援サイト（HOME WORKERS WEB） 在宅ワークを始めたい方へ役立つ情報を提供					
子育て経験等を活かした「子育て支援員」研修 子育て経験豊かな人が地域で活躍できるよう、都道府県や市町村などで「子育て支援員」の研修を実施					
起業の知識を習得できる「創業スクール」開催					
未来の企業★応援サイト（ミラサポ） 起業したい人や小規模な事業を運営する人のために、国や公的機関の補助金情報などを一元的に掲載。ウェブ上で事業経営に役立つ情報を得られる					
保育の待機児童解消加速化プラン 平成27年度はプラス約8万人分、29年度までに約20万人分の受け皿を新たに用意					
放課後子ども総合プラン 「小1の壁」打破のために放課後児童クラブを平成31年度までに約30万人分を新たに整備					
男性の家事・子育てへの参加を促進、男性の意識と職場風土の改革 イクメン・イクボスなどの表彰、セミナーの実施など					
仕事と家庭の両立支援に向けた、企業の取り組みを促進 両立を支援し女性の活躍を推進する企業にインセンティブを付与する、育休の取得や育休からの復帰を支援する事業主への助成を行うなど					
妊娠・出産などによる、不利益な取り扱いが起こらない職場づくり					
企業における女性活躍の迅速で重点的な推進 女性管理職登用にに向けた研修実施への助成や、女性活躍の現状の実態や情報を開示し、課題を達成するための目標・行動計画を策定・公表した事業主へのインセンティブの付与					
企業の有価証券報告書に役員の男女別人数と女性比率の記載を義務付ける					
正社員実現加速化プロジェクト 派遣労働者の正社員への転換や、勤務地・職務などを限定した「多様な正社員」の導入などを支援					
働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し 103万円の壁、130万円の壁などの社会保障制度や配偶者手当等について、総合的に検討する					

Q3 女性の活躍推進で、もっと知りたい取り組みがあれば、教えてください。気になる理由や意見も記入してください。

もっと知りたい取り組み ()
理由や意見 ()

Q4 政府の女性活躍推進の取り組み全体に対して、ご意見があれば自由にお書きください。

()

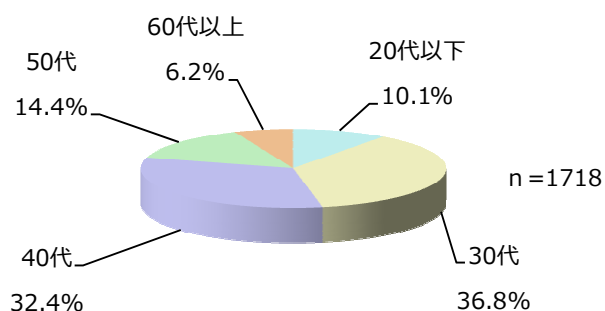
調査概要

- ◆実施時期：2015年5/14(木)～5/24(日)
- ◆実施方法：リビングWeb、あんふあんWeb、シティリビングWeb会員へのWeb調査
- ◆有効回答数：女性 1718

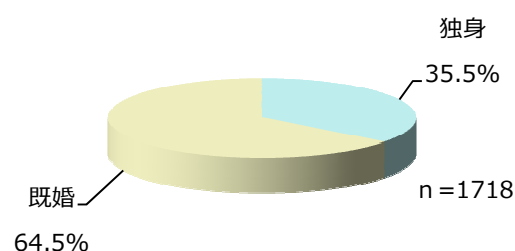
リビングWeb：主婦の暮らしと地域に密着したリビング新聞の公式サイト
 あんふあんWeb：未就学児のママに役立つ子育て情報誌あんふあん、あんふあんの公式サイト
 シティリビングWeb：企業で働く女性のための情報紙シティリビングの公式サイト

回答者プロフィール

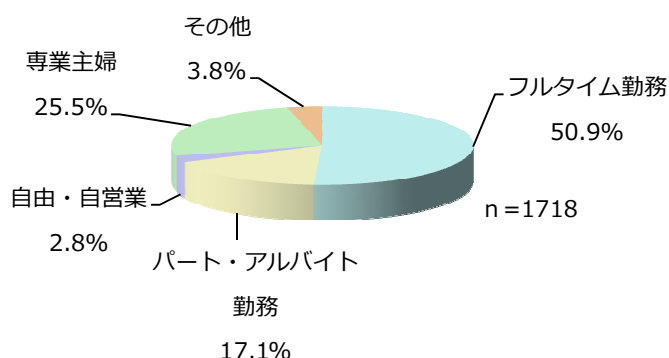
【年代】



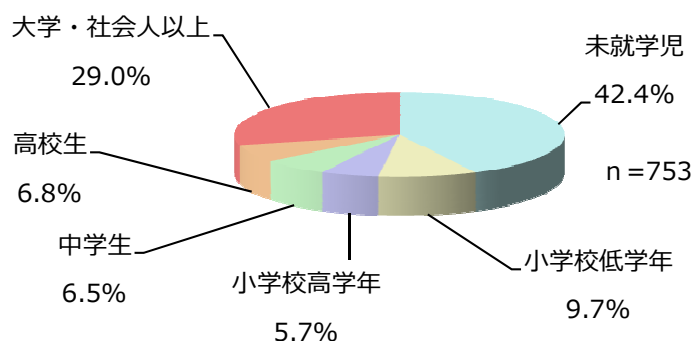
【未既婚】



【働き方】



【末子年齢(子どものいる人)】



サイト関連の認知度が特に低い傾向に

21の施策をあげ、それぞれ知っているかどうかを確認した。認知度が2割を超えたのは、

- ・子育てしながら就職を希望する人の支援拠点の拡大
- ・公的職業訓練
- ・働き方に中立的な税制・社会保障制度の見直し
- ・妊娠・出産などによる、不利益な取り扱いが起こらない職場づくり

上記4項目は「知っている」が2割を超えてはいるものの、いずれも「聞いたことはあるがよく分からない」も3割を超えていることから、全体的な認知度はあまり高くないといえる。

逆に、認知度が1割を下回ったのは下記。サイト関連の認知が低い。

- ・仕事と育児カムバック支援サイト
- ・女性の活躍応援ポータルサイト
- ・在宅ワークに関する総合支援サイト
- ・創業スクール
- ・ミラサポ

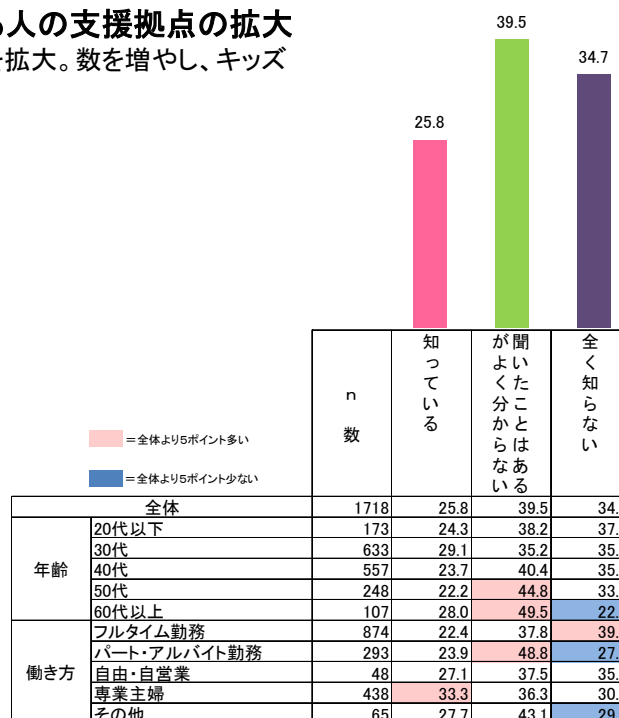
※各施策ごとの認知度、年代別、働き方別データは次ページ以降

各施策の認知度（全体）

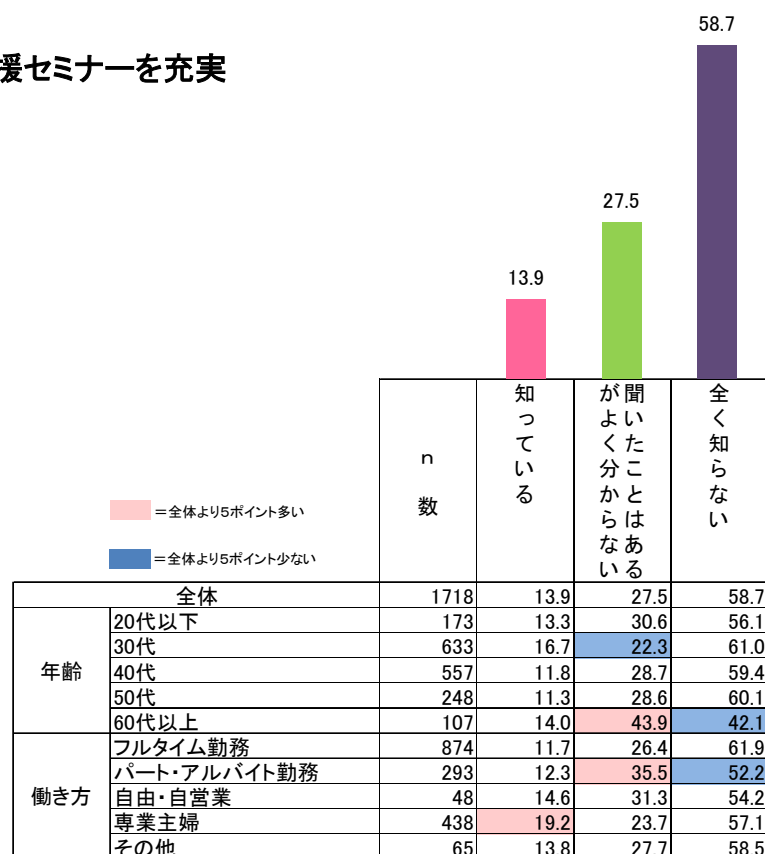
	知っている(%)
子育てしながら就職を希望する人の支援拠点の拡大 マザーズハローワークやマザーズコーナーを拡大。数を増やし、キッズコーナーを整備、地域の保育園情報も提供	25.8
無料の託児付き再就職支援セミナーを充実	13.9
「仕事と育児カムバック支援サイト」 仕事復帰の不安を解消しスキル回復などサポート情報を総合的に提供。専門相談員が復帰、再就職の悩みにWebで回答	9.5
「女性の活躍応援ポータルサイト」 女性のライフステージや多様な生き方・働き方に対応する様々な支援情報を一元的に提供する総合的な情報プラットフォーム	9.4
研修・職業紹介一体型の再就職応援 民間の就職支援会社が無料で、研修や職業紹介をワンストップでサポート	8.6
トライアル雇用 プランがあり不安のある人が正社員として就職しやすくなるよう、3か月間を上限にトライアル雇用（試用雇用）として働いてみる事ができる	16.4
公的職業訓練（女性再就職支援コース、託児サービス拡充） ハローワークで求職中の人を対象に、就職に必要な技能や知識を身に付けるための様々な公的職業訓練を無料で実施	25.5
専門資格等を生かした再就職支援 ハローワークで、介護・看護・保育分野の就職支援を強化など	16.9
在宅ワークに関する総合支援サイト（HOME WORKERS WEB） 在宅ワークを始めたい方へ役立つ情報を提供	6.3
子育て経験等を活かした「子育て支援員」研修 子育て経験豊かな人が地域で活躍できるよう、都道府県や市町村などで「子育て支援員」の研修を実施	10.1
起業の知識を習得できる「創業スクール」開催	6.2

	知っている(%)
未来の企業★応援サイト（ミラサポ） 起業したい人や小規模な事業を運営する人のために、国や公的機関の補助金情報などを一元的に掲載。ウェブ上で事業経営に役立つ情報を得られる	5.1
保育の待機児童解消加速化プラン 平成27年度はプラス約8万人分、29年度までに約20万人分の受け皿を新たに用意	14.5
放課後子ども総合プラン 「小1の壁」打破のために放課後児童クラブを平成31年度までに約30万人分を新たに整備	12.4
男性の家事・子育てへの参加を促進、男性の意識と職場風土の改革 イクメン・イクボスなどの表彰、セミナーの実施など	12.6
仕事と家庭の両立支援に向けた、企業の取り組みを促進 両立を支援し女性の活躍を推進する企業にインセンティブを付与する、育休の取得や育休からの復帰を支援す	12.9
妊娠・出産などによる、不利益な取り扱いが起こらない職場づくり	21.7
企業における女性活躍の迅速で重点的な推進 女性管理職登用にに向けた研修実施への助成や、女性活躍の現状の実態や情報を開示し、課題を達成するための目標・行動計画を策定・公表した事業主へのインセン	14.8
企業の有価証券報告書に役員の男女別人数と女性比率の記載を義務付ける	11.8
正社員実現加速化プロジェクト 派遣労働者の正社員への転換や、勤務地・職務などを限定した「多様な正社員」の導入などを支援	13.9
働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し 103万円の壁、130万円の壁などの社会保障制度や配偶者手当等について、総合的に検討する	22.4

Q1-1 子育てしながら就職を希望する人の支援拠点の拡大 マザーズハローワークやマザーズコーナーを拡大。数を増やし、キッズ コーナーを整備、地域の保育園情報も提供

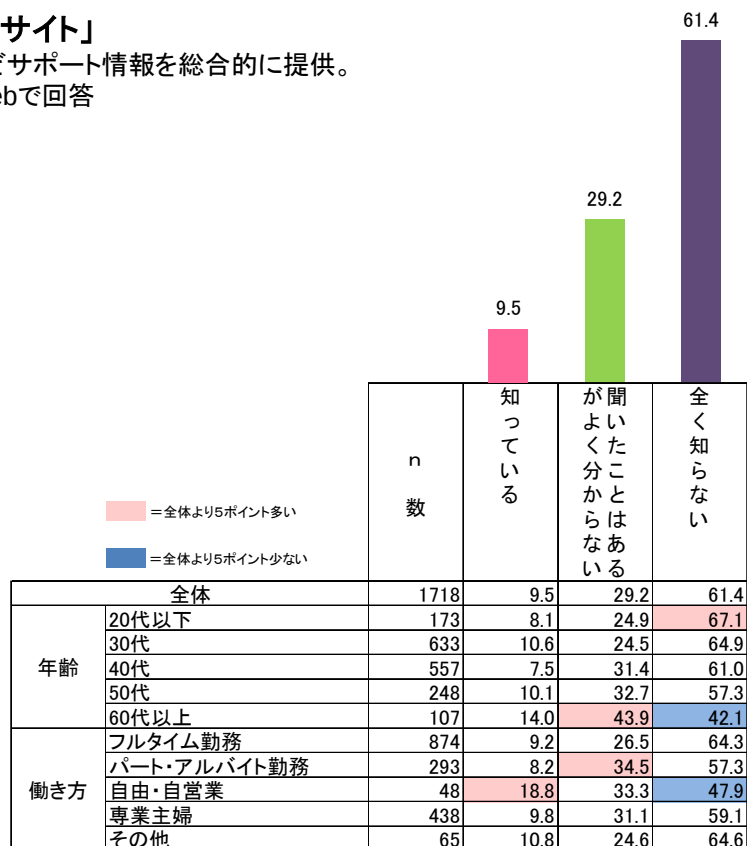


Q1-2 無料の託児付き再就職支援セミナーを充実



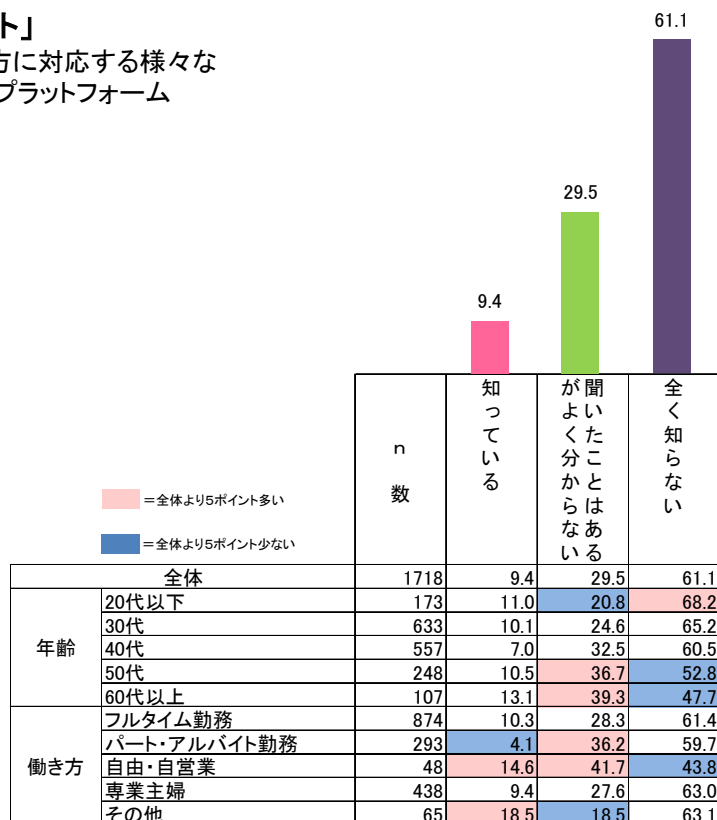
Q1-3「仕事と育児カムバック支援サイト」

仕事復帰の不安を解消しスキル回復などサポート情報を総合的に提供。
専門相談員が復帰、再就職の悩みにWebで回答



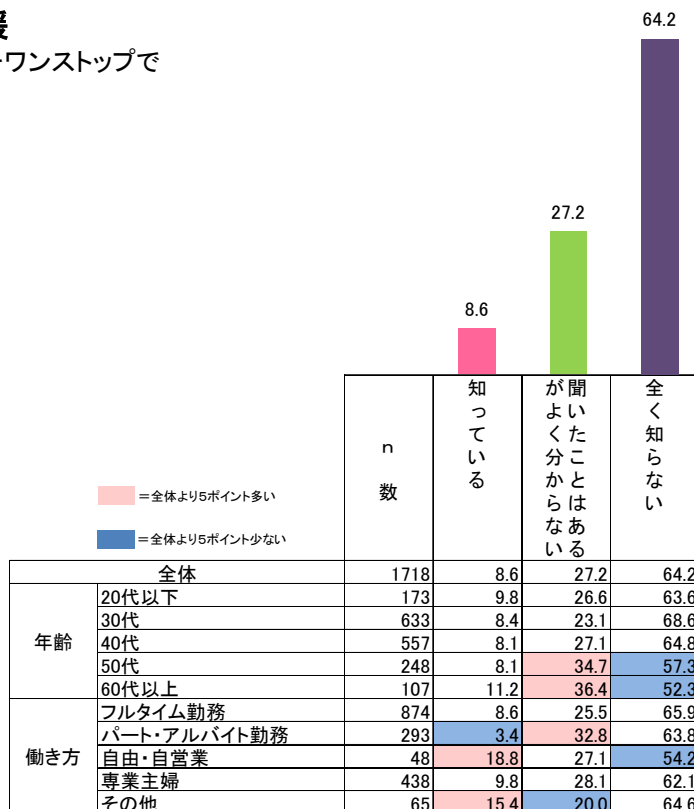
Q1-4「女性の活躍応援ポータルサイト」

女性のライフステージや多様な生き方・働き方に対応する様々な
支援情報を一元的に提供する総合的な情報プラットフォーム



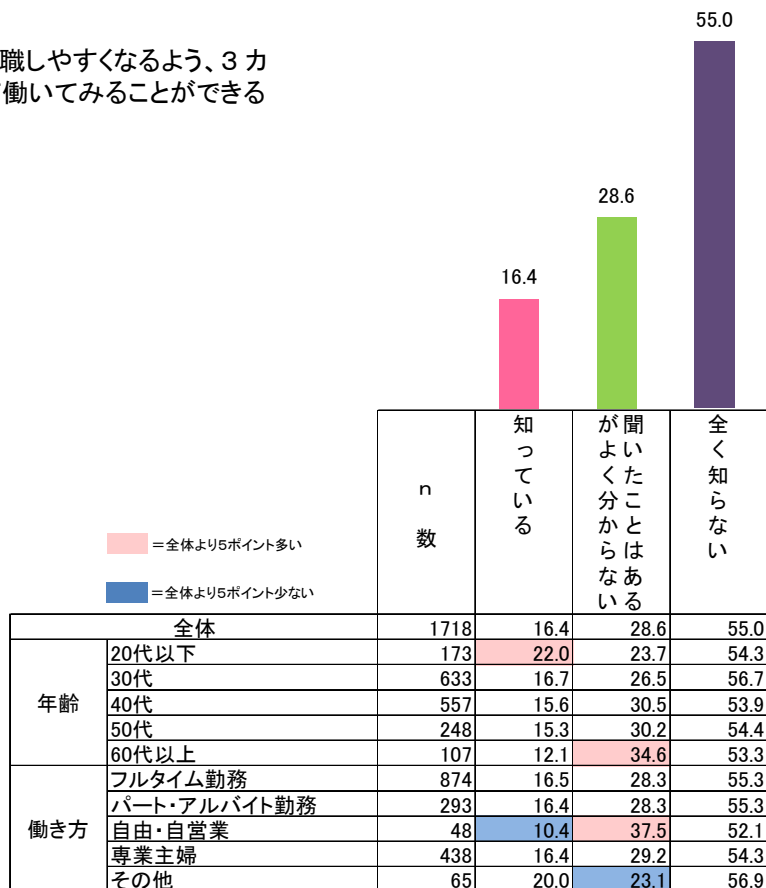
Q1-5 研修・職業紹介一体型の再就職応援

民間の就職支援会社が無料で、研修や職業紹介をワンストップでサポート



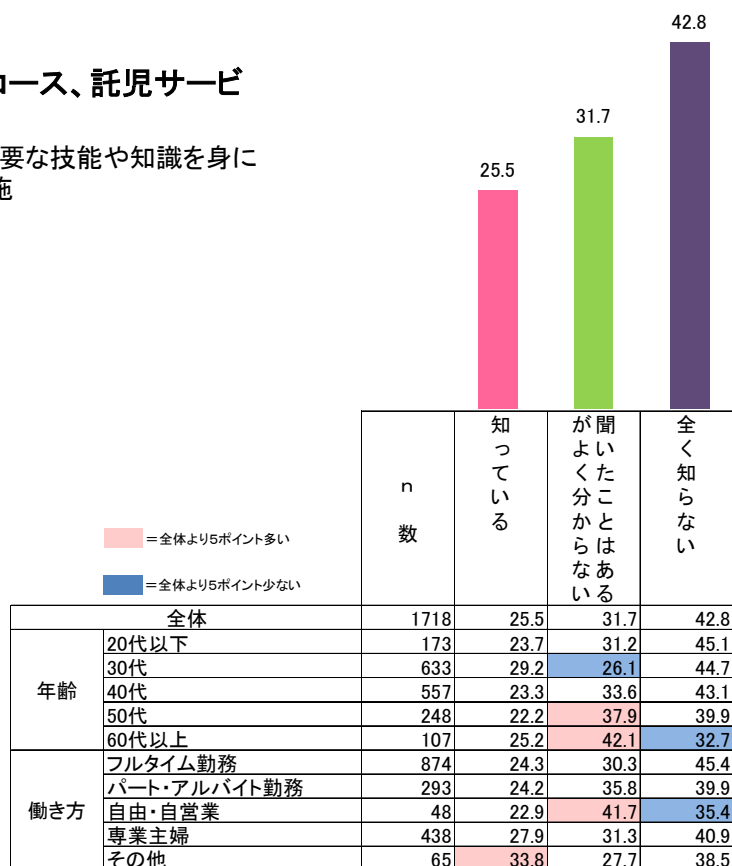
Q1-6トライアル雇用

ブランクがあり不安のある人が正社員として就職しやすくなるよう、3 カ月間を上限にトライアル雇用（試行雇用）として働いてみる事ができる



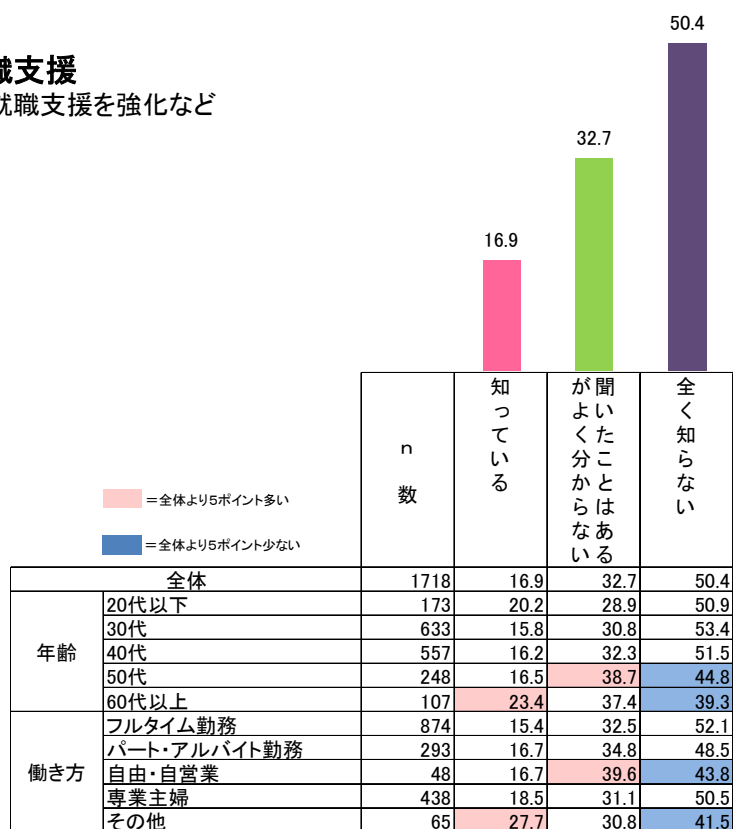
Q1-7 公的職業訓練（女性再就職支援コース、託児サービス拡充）

ハローワークで求職中の人を対象に、就職に必要な技能や知識を身に付けるための様々な公的職業訓練を無料で実施



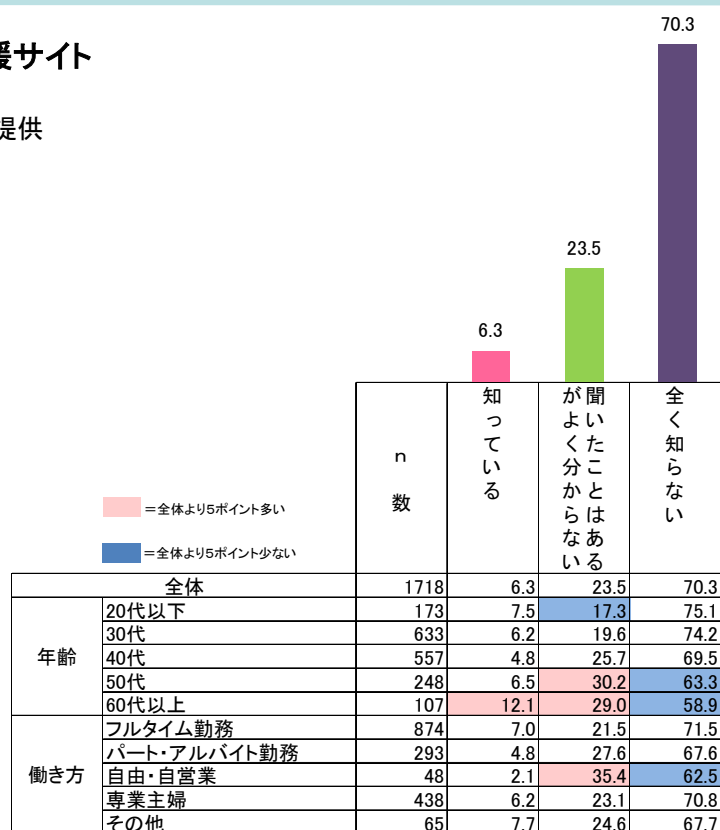
Q1-8 専門資格等を生かした再就職支援

ハローワークで、介護・看護・保育分野の就職支援を強化など



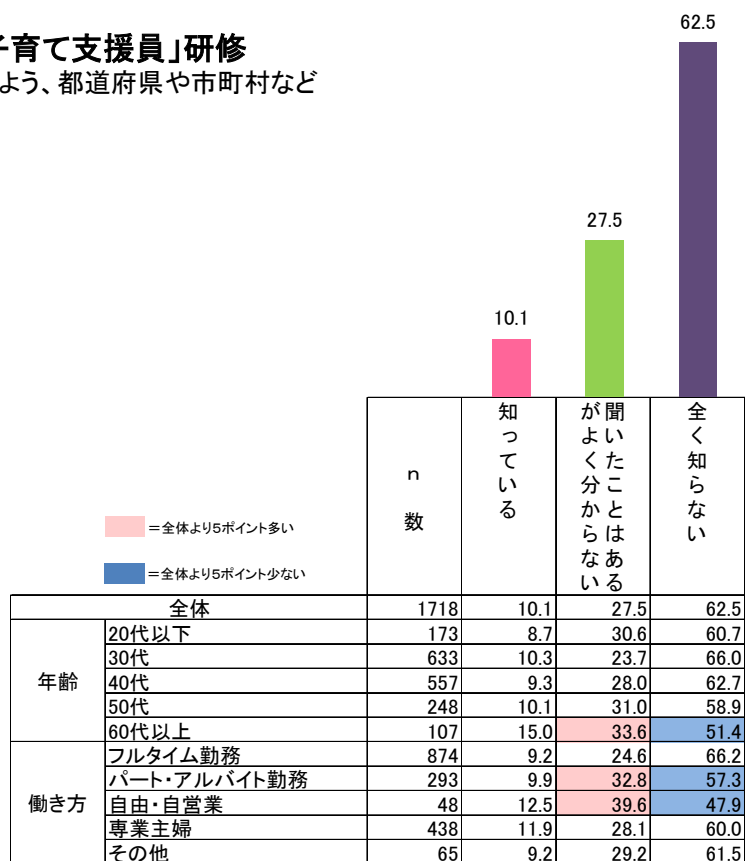
Q1-9 在宅ワークに関する総合支援サイト (HOME WORKERS WEB)

在宅ワークを始めたい方へ役立つ情報を提供

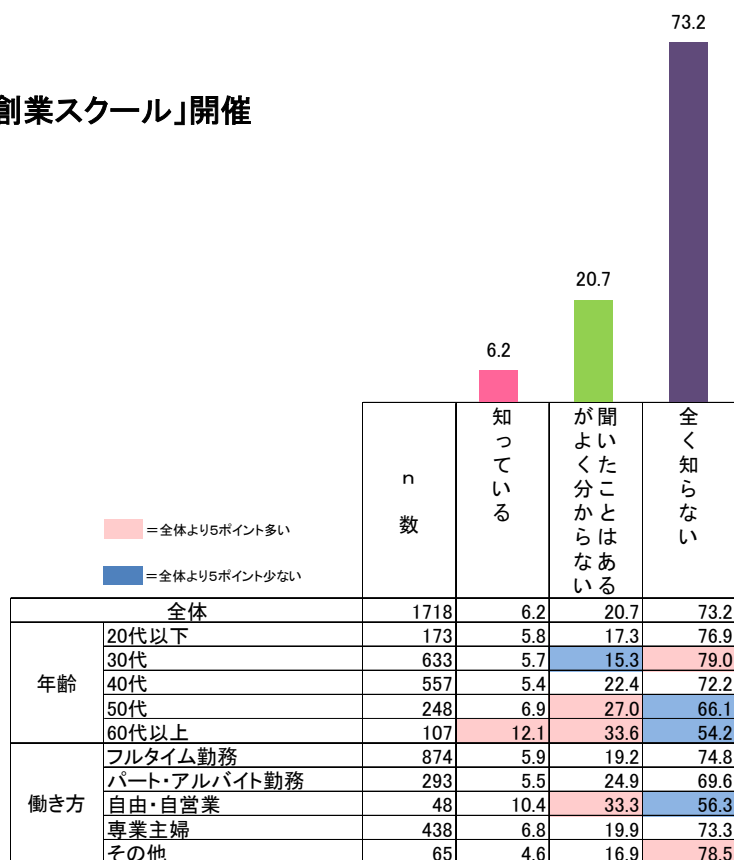


Q1-10 子育て経験等を活かした「子育て支援員」研修

子育て経験豊かな人が地域で活躍できるよう、都道府県や市町村などで「子育て支援員」の研修を実施

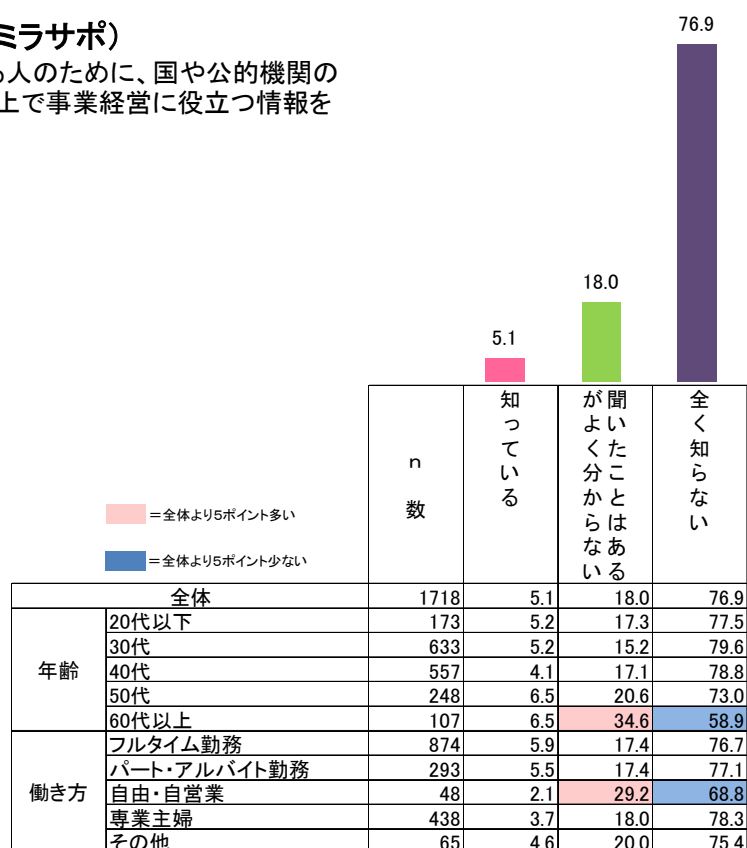


Q1-11 起業の知識を習得できる「創業スクール」開催



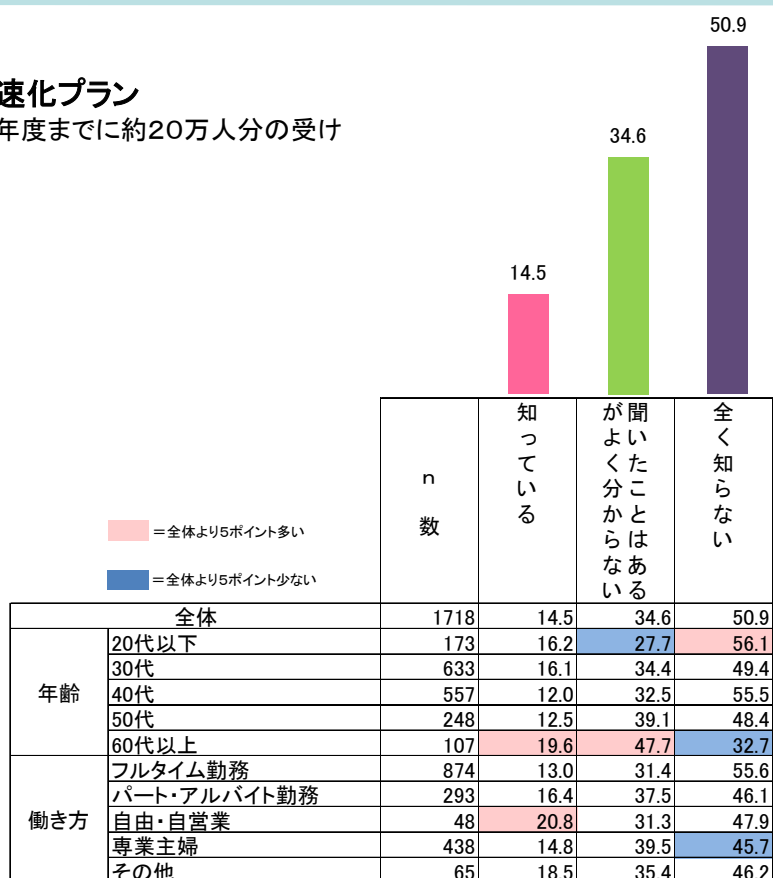
Q1-12 未来の企業★応援サイト(ミラサポ)

起業したい人や小規模な事業を運営する人のために、国や公的機関の補助金情報などを一元的に掲載。ウェブ上で事業経営に役立つ情報を得られる



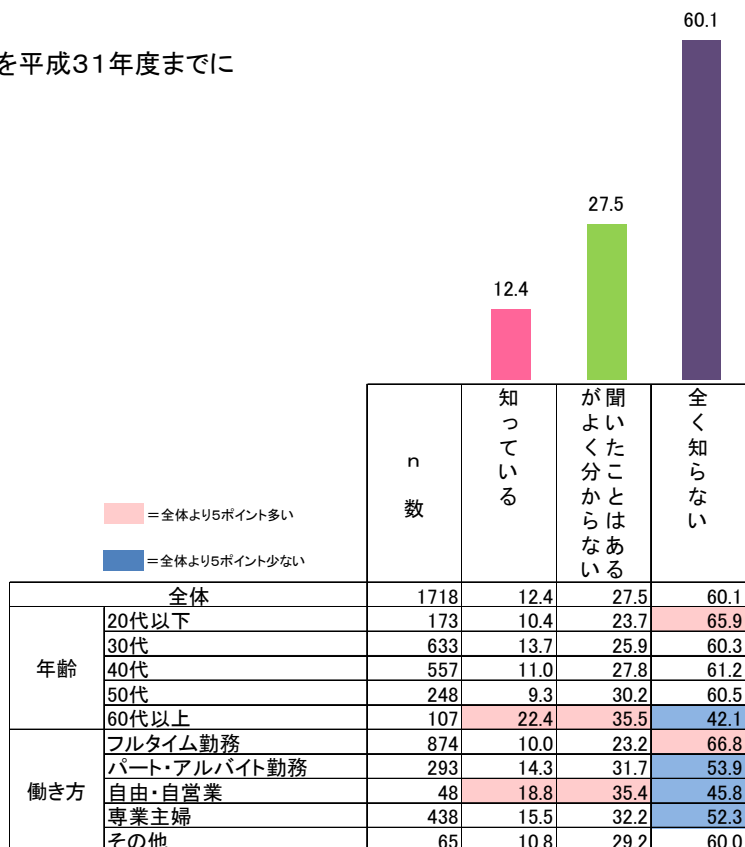
Q1-13 保育の待機児童解消加速化プラン

平成27年度はプラス約8万人分、29年度までに約20万人分の受け皿を新たに用意



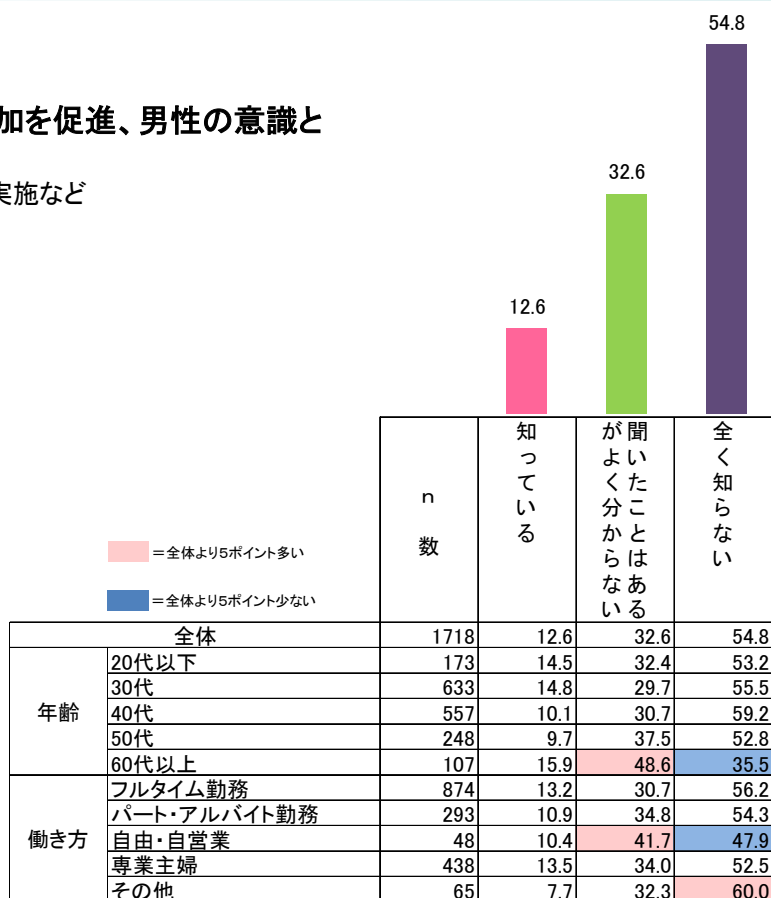
Q1-14 放課後子ども総合プラン

「小1の壁」打破のために放課後児童クラブを平成31年度までに約30万人分を新たに整備



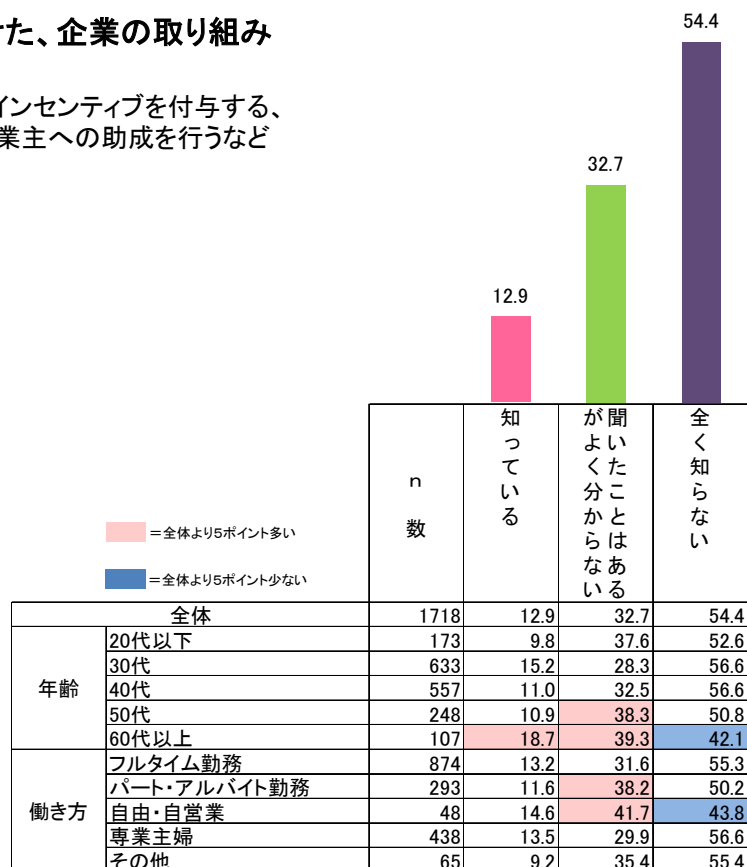
Q1-15 男性の家事・子育てへの参加を促進、男性の意識と職場風土の改革

イクメン・イクボスなどの表彰、セミナーの実施など

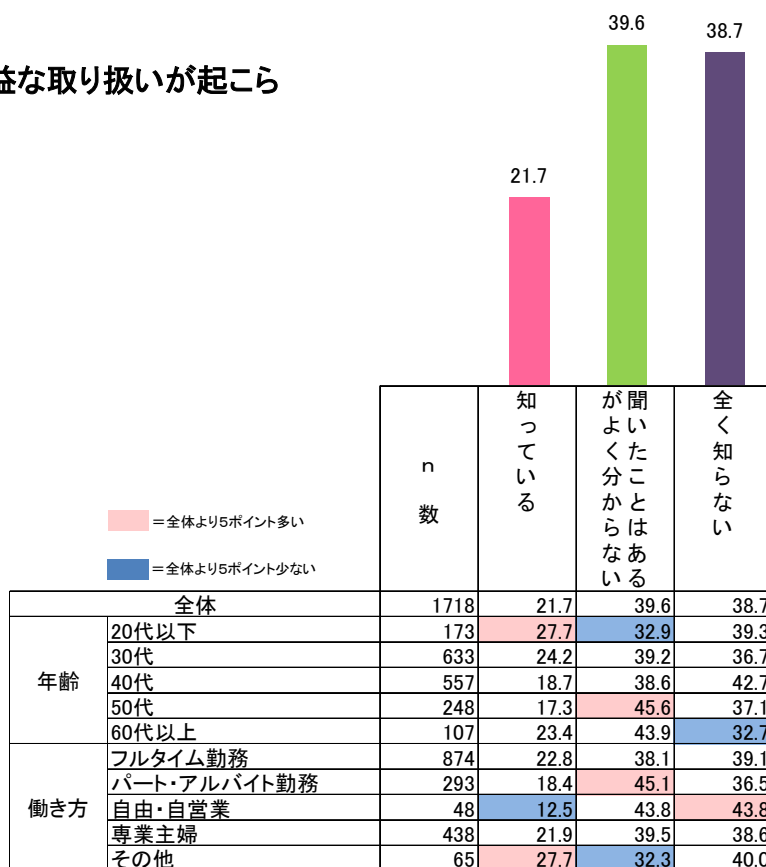


Q1-16 仕事と家庭の両立支援に向けた、企業の取り組みを促進

両立を支援し女性の活躍を推進する企業にインセンティブを付与する、育休の取得や育休からの復帰を支援する事業主への助成を行うなど

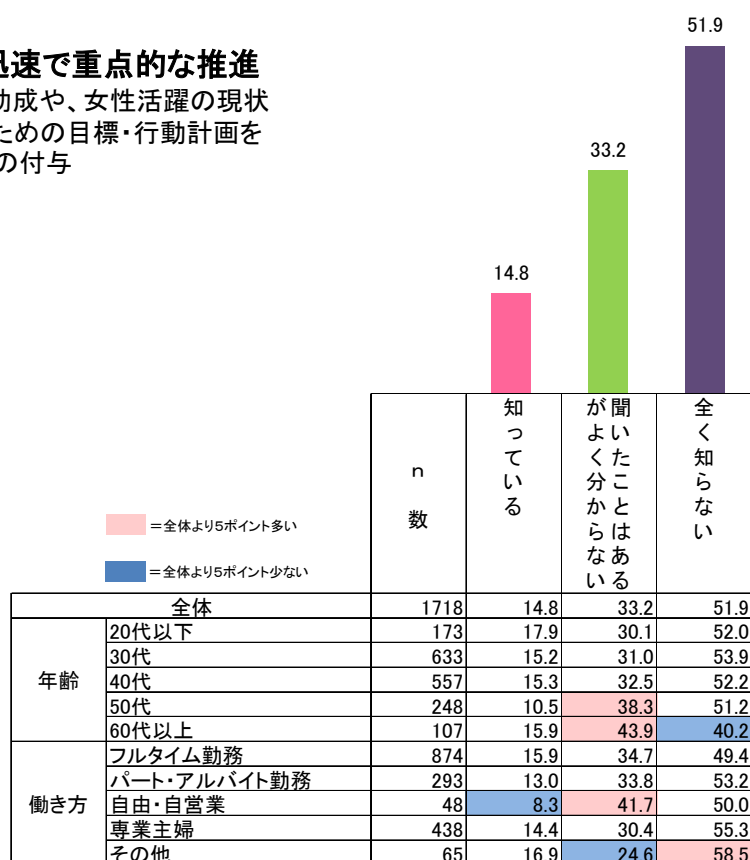


Q1-17 妊娠・出産などによる、不利益な取り扱いが起こらない職場づくり

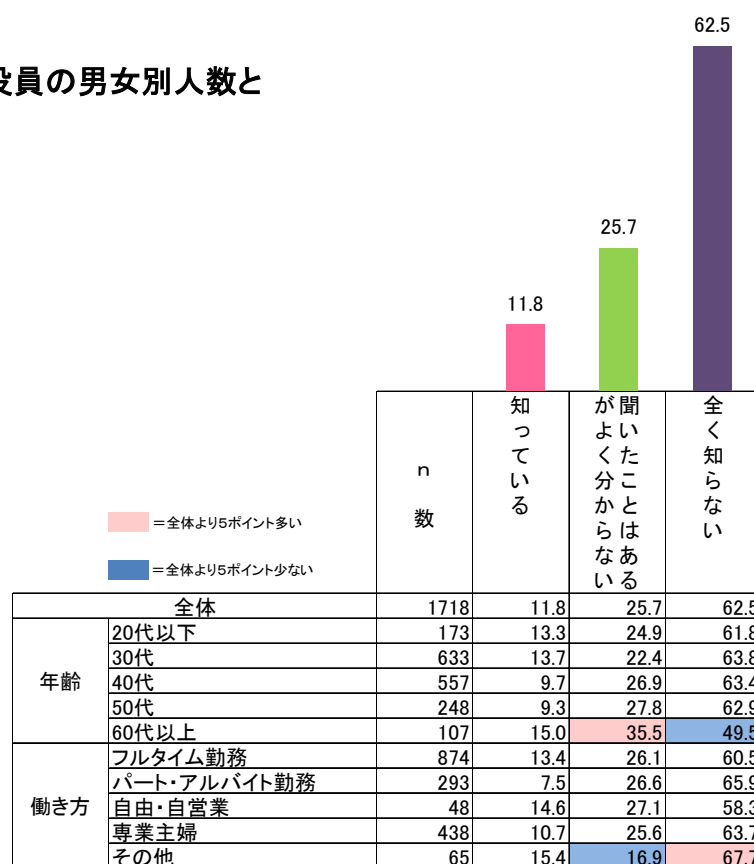


Q1-18 企業における女性活躍の迅速で重点的な推進

女性管理職登用に向けた研修実施への助成や、女性活躍の現状の実態や情報を開示し、課題を達成するための目標・行動計画を策定・公表した事業主へのインセンティブの付与

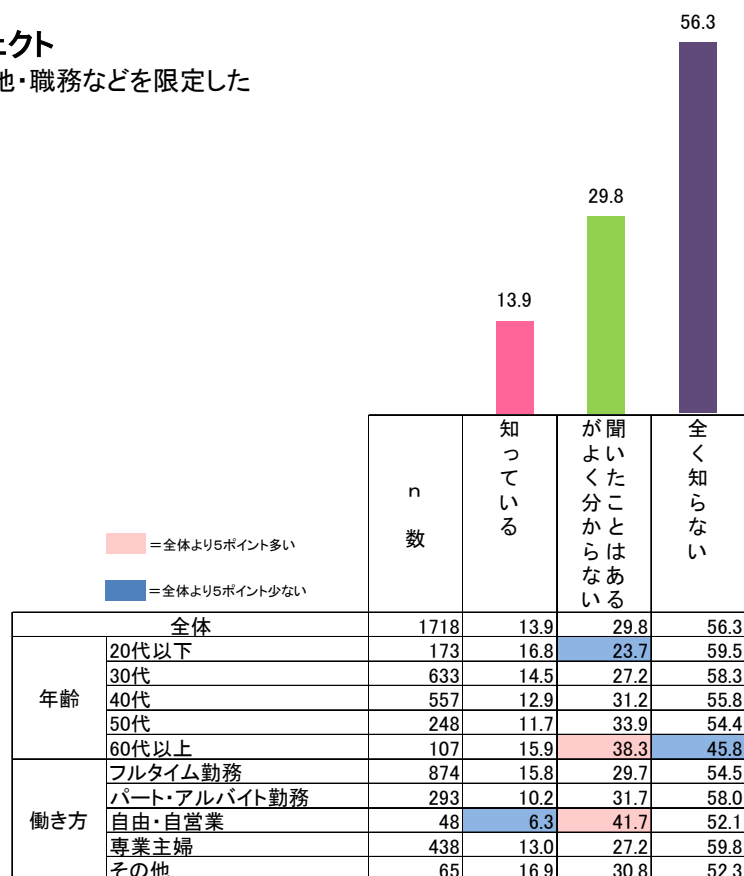


Q1-19 企業の有価証券報告書に役員の男女別人数と女性比率の記載を義務付ける

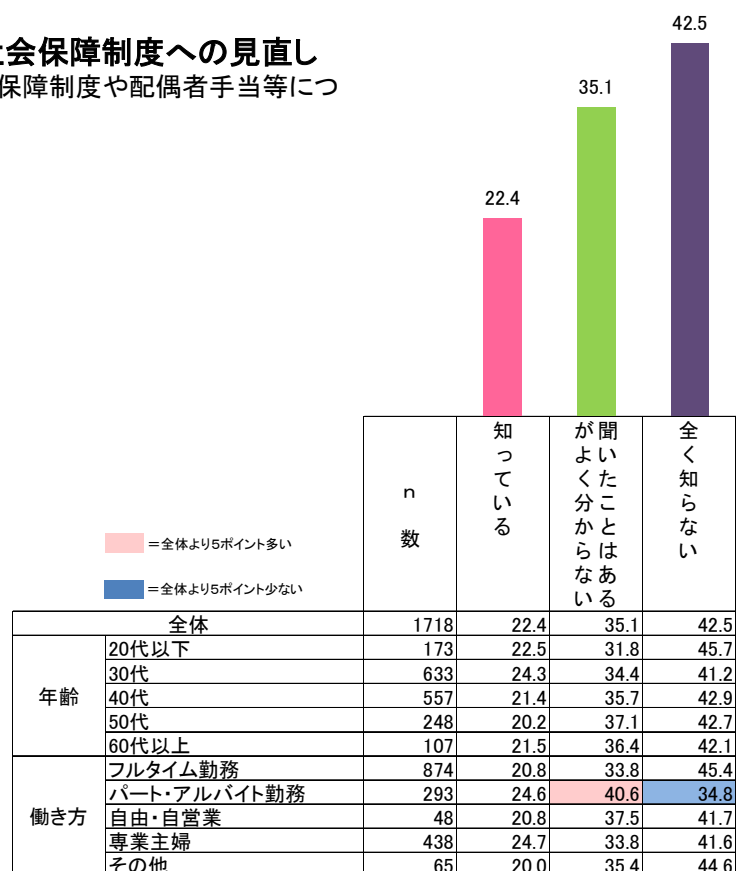


Q1-20 正社員実現加速化プロジェクト

派遣労働者の正社員への転換や、勤務地・職務などを限定した「多様な正社員」の導入などを支援



Q1-21 働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し 103万円の壁、130万円の壁などの社会保障制度や配偶者手当等につ いて、総合的に検討する



再就職の前に、まずは安心して子どもを預けられる環境の整備が期待されている

各施策への期待度を5段階で確認した。「大いに期待」「まあ期待」を合わせた、期待度の高さベスト5は下記の通り。

- 1位 公的職業訓練
- 2位 保育の待機児童解消加速化プラン
- 3位 放課後子ども総合プラン
- 4位 妊娠・出産などによる不利益な取り扱いが起らない職場づくり
- 5位 子育てしながら就職を希望する人の支援拠点の拡大

「あまり期待していない」「全く期待していない」を合わせた期待度の低さが3割を超えた項目は、創業スクール、ミラサポ、男性の意識と職場風土の改革、企業の有価証券報告書に役員の男女別人数と女性比率記載の義務付けの4項目にとどまった。

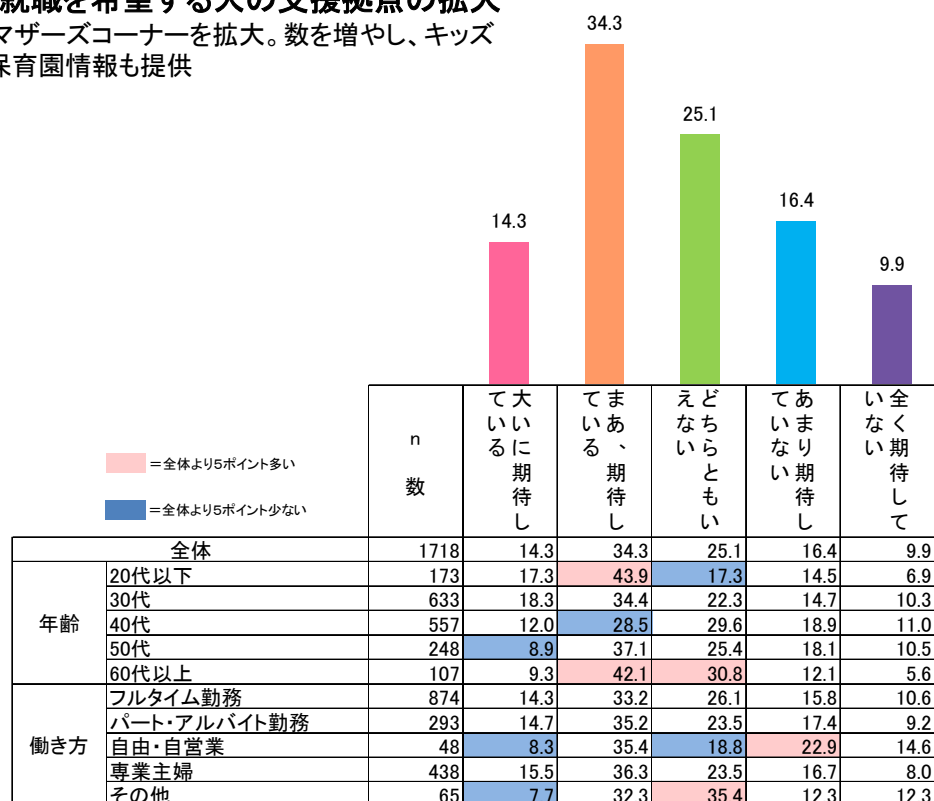
後述のフリーアンサーと照らし合わせると、“男性の意識と職場風土の改革”は、半ば諦め的な理由から、期待度が低いことが分かる。

※各施策ごとの期待度、年代別、働き方別データは次ページ以降

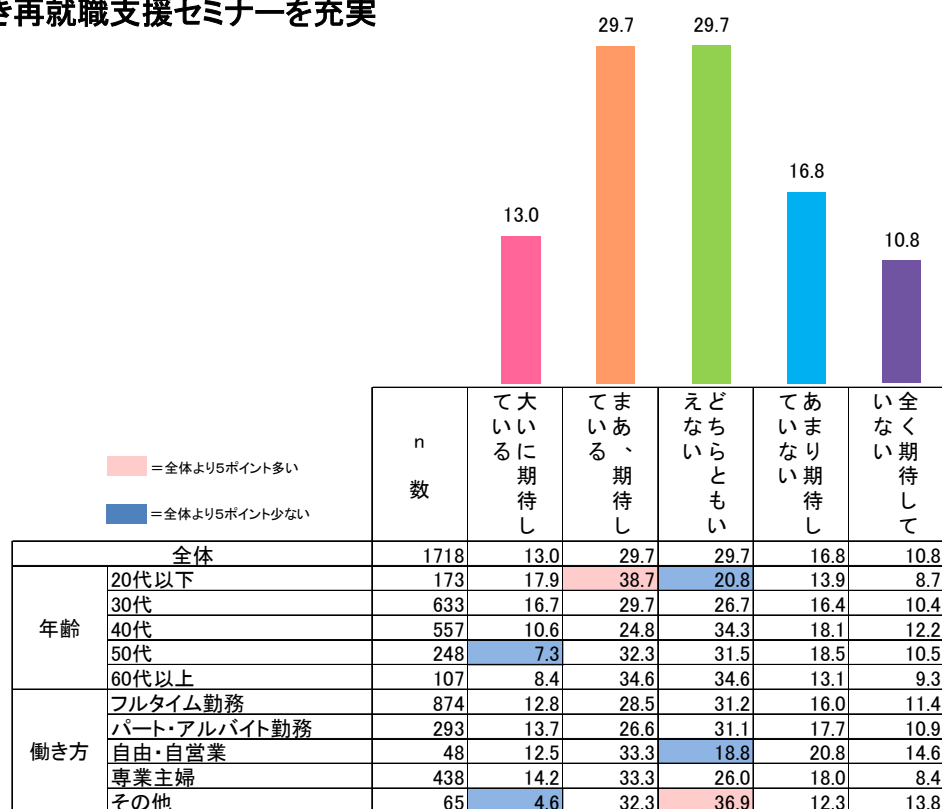
各施策の期待度（大いに期待+まあ期待 全体）

	大いに期待 +まあ期待 (%)		大いに期待 +まあ期待 (%)
子育てしながら就職を希望する人の支援拠点の拡大 マザーズハローワークやマザーズコーナーを拡大。数を増やし、キッズコーナーを整備、地域の保育園情報も提供	48.6	未来の企業★応援サイト(ミラサポ) 起業したい人や小規模な事業を運営する人のために、国や公的機関の補助金情報などを一元的に掲載。ウェブ上で事業経営に役立つ情報を得られる	33.0
無料の託児付き再就職支援セミナーを充実	42.7	保育の待機児童解消加速化プラン 平成27年度はプラス約8万人分、29年度までに約20万人分の受け皿を新たに用意	50.2
「仕事と育児カムバック支援サイト」 仕事復帰の不安を解消しスキル回復などサポート情報を総合的に提供。専門相談員が復帰、再就職の悩みにWebで回答	42.5	放課後子ども総合プラン 「小1の壁」打破のために放課後児童クラブを平成31年度までに約30万人分を新たに整備	49.6
「女性の活躍応援ポータルサイト」 女性のライフステージや多様な生き方・働き方に対応する様々な支援情報を一元的に提供する総合的な情報プラットフォーム	34.9	男性の家事・子育てへの参加を促進、男性の意識と職場風土の改革 イクメン・イクボスなどの表彰、セミナーの実施など	39.1
研修・職業紹介一体型の再就職応援 民間の就職支援会社が無料で、研修や職業紹介をワンストップでサポート	44.2	仕事と家庭の両立支援に向けた、企業の取り組みを促進 両立を支援し女性の活躍を推進する企業にインセンティブを付与する、育休の取得や育休からの復帰を支援す	45.8
トライアル雇用 ブランクがあり不安のある人が正社員として就職しやすくなるよう、3か月間を上限にトライアル雇用(試用雇用)として働いてみることができる	44.2	妊娠・出産などによる、不利益な取り扱いが起らない職場づくり	49.5
公的職業訓練(女性再就職支援コース、託児サービス拡充) ハローワークで求職中の人を対象に、就職に必要な技能や知識を身に付けるための様々な公的職業訓練を無料で実施	51.6	企業における女性活躍の迅速で重点的な推進 女性管理職登用にに向けた研修実施への助成や、女性活躍の現状の実態や情報を開示し、課題を達成するための目標・行動計画を策定・公表した事業主へのインセン	43.0
専門資格等を生かした再就職支援 ハローワークで、介護・看護・保育分野の就職支援を強化など	47.1	企業の有価証券報告書に役員の男女別人数と女性比率の記載を義務付ける	34.3
在宅ワークに関する総合支援サイト(HOME WORKERS WEB) 在宅ワークを始めたい方へ役立つ情報を提供	45.7	正社員実現加速化プロジェクト 派遣労働者の正社員への転換や、勤務地・職務などを限定した「多様な正社員」の導入などを支援	44.2
子育て経験等を活かした「子育て支援員」研修 子育て経験豊かな人が地域で活躍できるよう、都道府県や市町村などで「子育て支援員」の研修を実施	44.7	働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し 103万円の壁、130万円の壁などの社会保障制度や配偶者手当等について、総合的に検討する	45.5
起業の知識を習得できる「創業スクール」開催	31.7		

Q2-1 子育てしながら就職を希望する人の支援拠点の拡大 マザーズハローワークやマザーズコーナーを拡大。数を増やし、キッズコーナーを整備、地域の保育園情報も提供

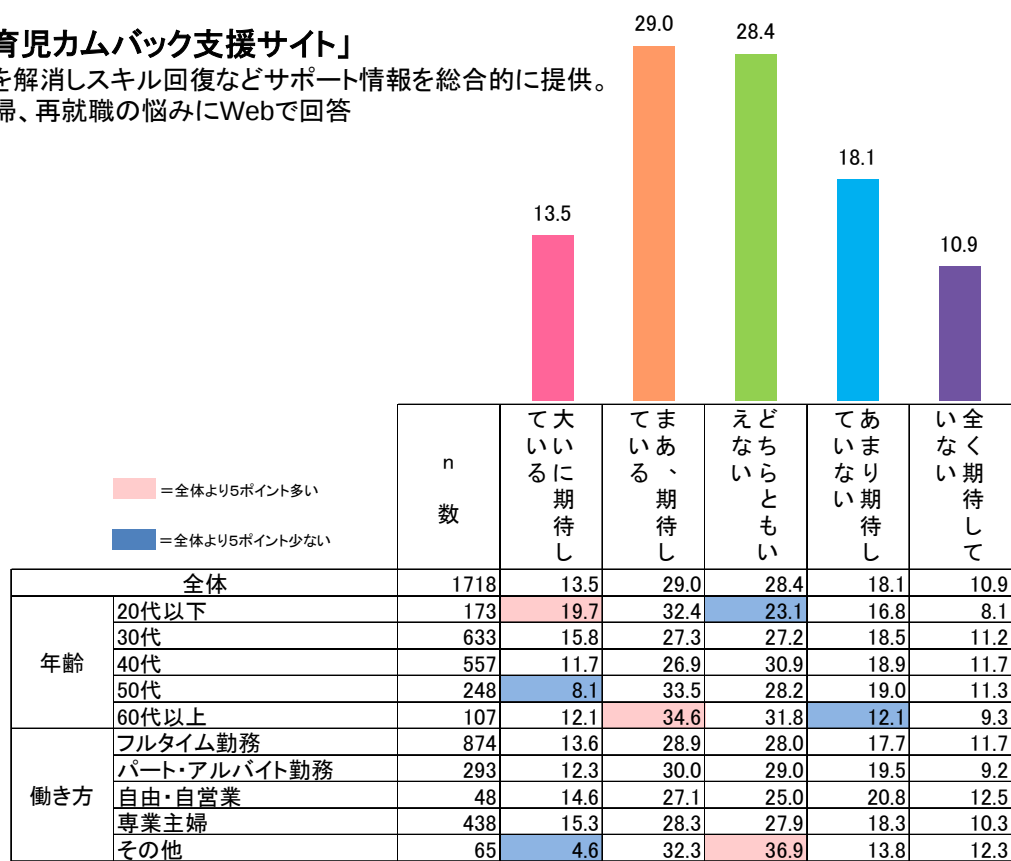


Q2-2 無料の託児付き再就職支援セミナーを充実



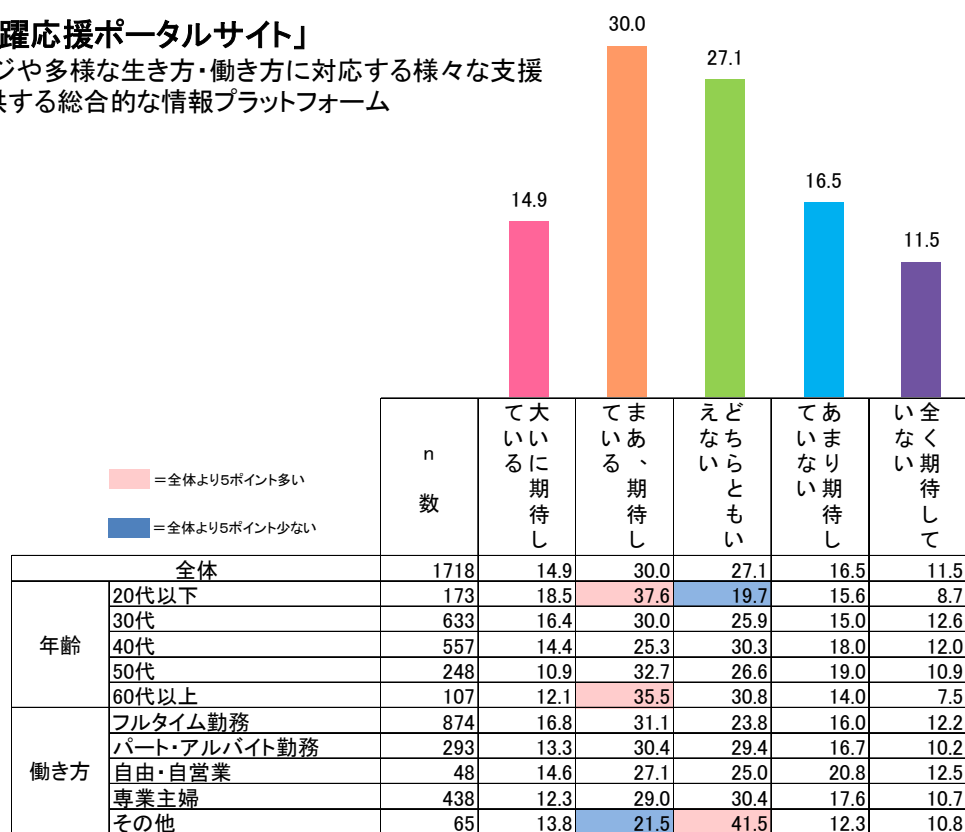
Q2-3「仕事と育児カムバック支援サイト」

仕事復帰の不安を解消しスキル回復などサポート情報を総合的に提供。
専門相談員が復帰、再就職の悩みにWebで回答



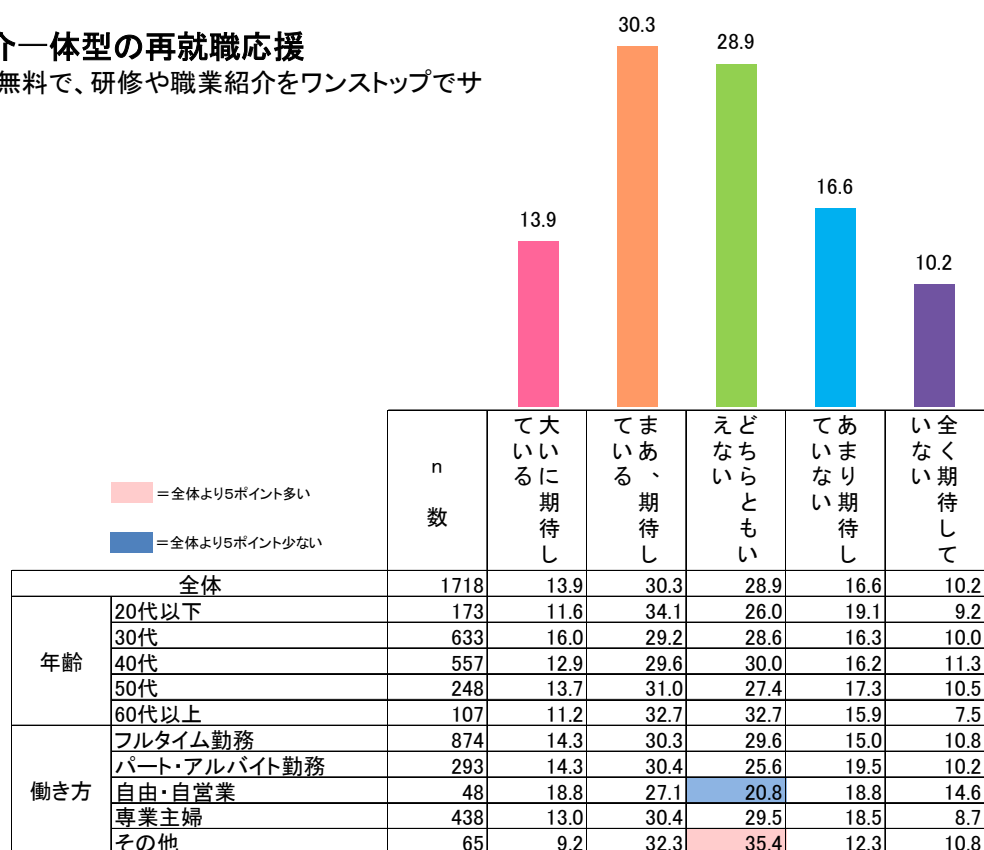
Q2-4「女性の活躍応援ポータルサイト」

女性のライフステージや多様な生き方・働き方に対応する様々な支援情報を一元的に提供する総合的な情報プラットフォーム



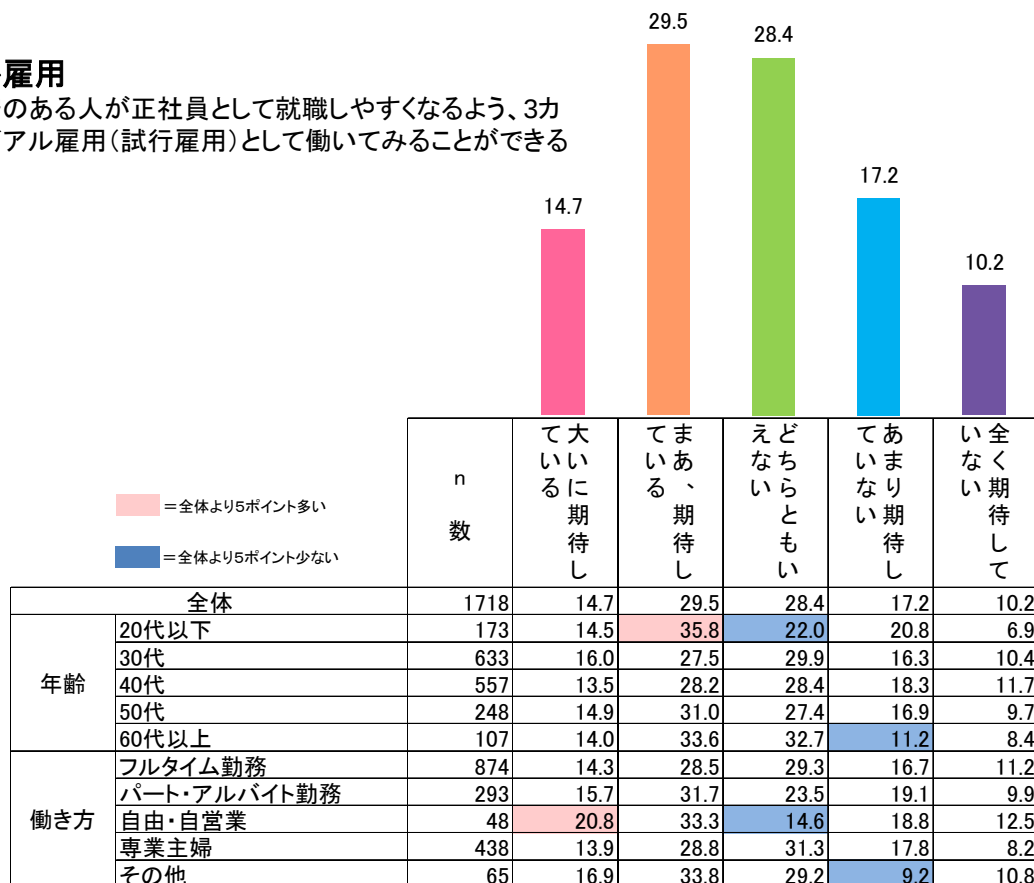
Q2-5 研修・職業紹介一体型の再就職応援

民間の就職支援会社が無料で、研修や職業紹介をワンストップでサポート



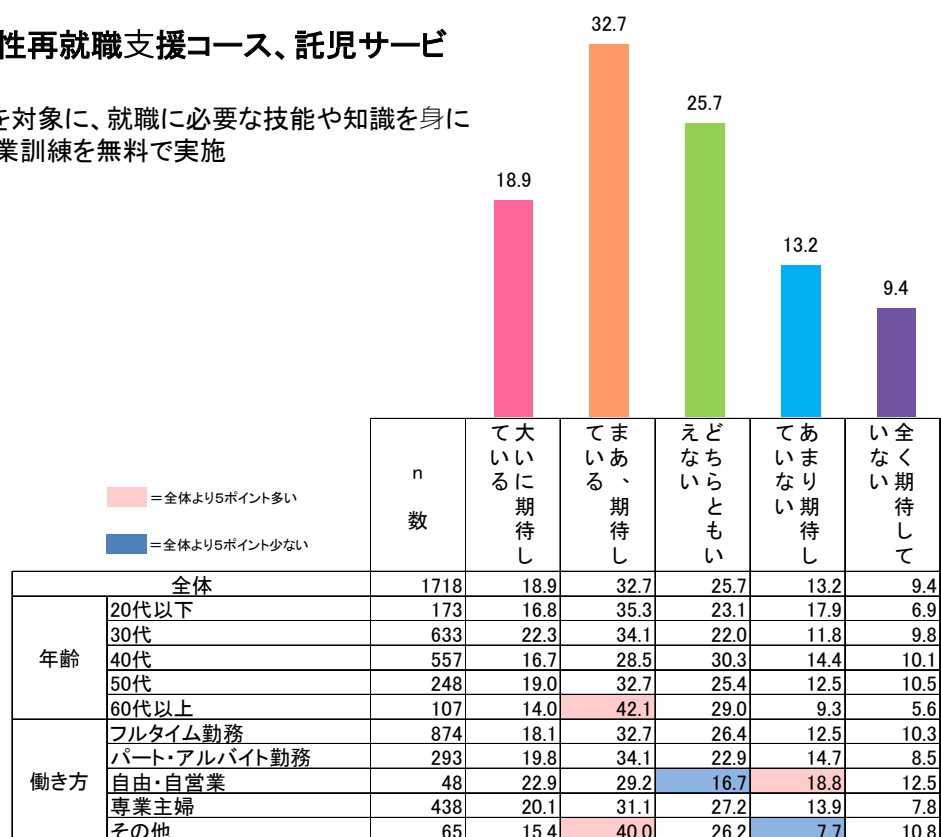
Q2-6 トライアル雇用

ブランクがあり不安のある人が正社員として就職しやすくなるよう、3カ月間を上限にトライアル雇用（試行雇用）として働いてみる事ができる



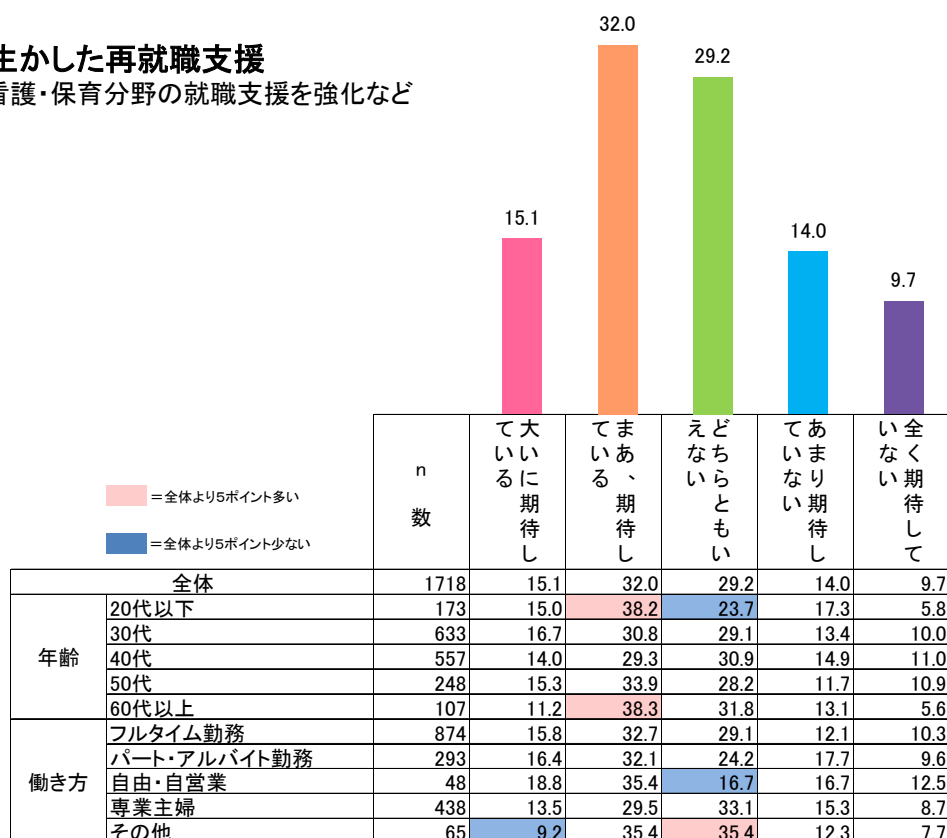
Q2-7 公的職業訓練（女性再就職支援コース、託児サービス拡充）

ハローワークで求職中の人を対象に、就職に必要な技能や知識を身に付けるための様々な公的職業訓練を無料で実施



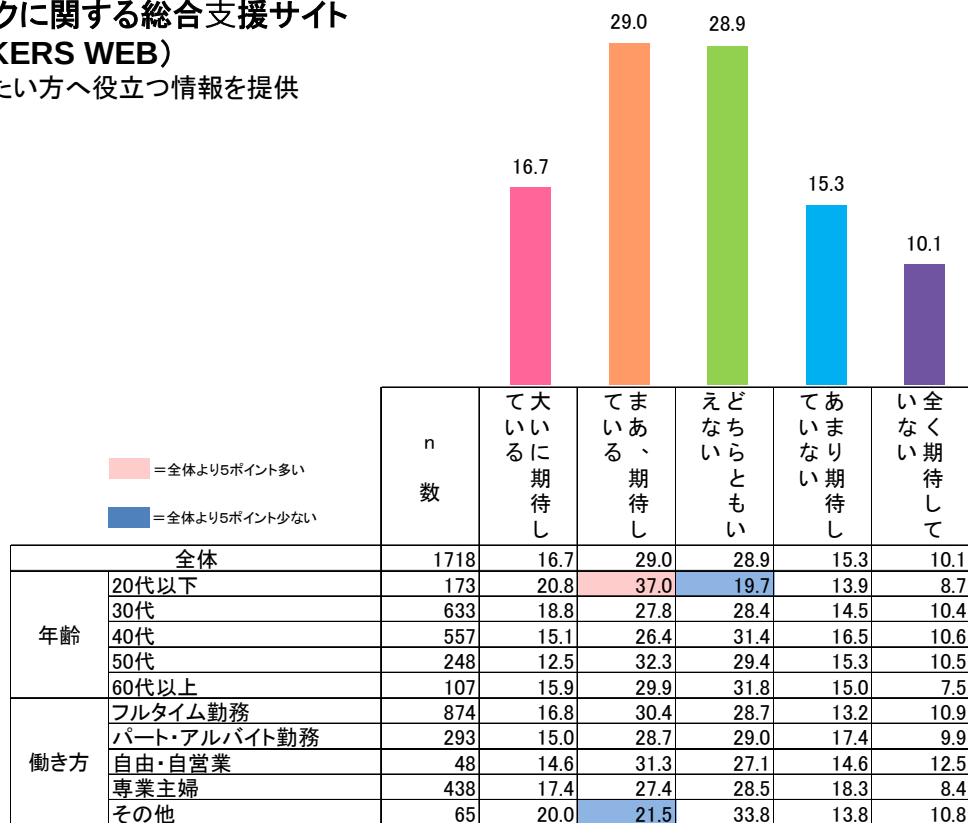
Q2-8 専門資格等を生かした再就職支援

ハローワークで、介護・看護・保育分野の就職支援を強化など



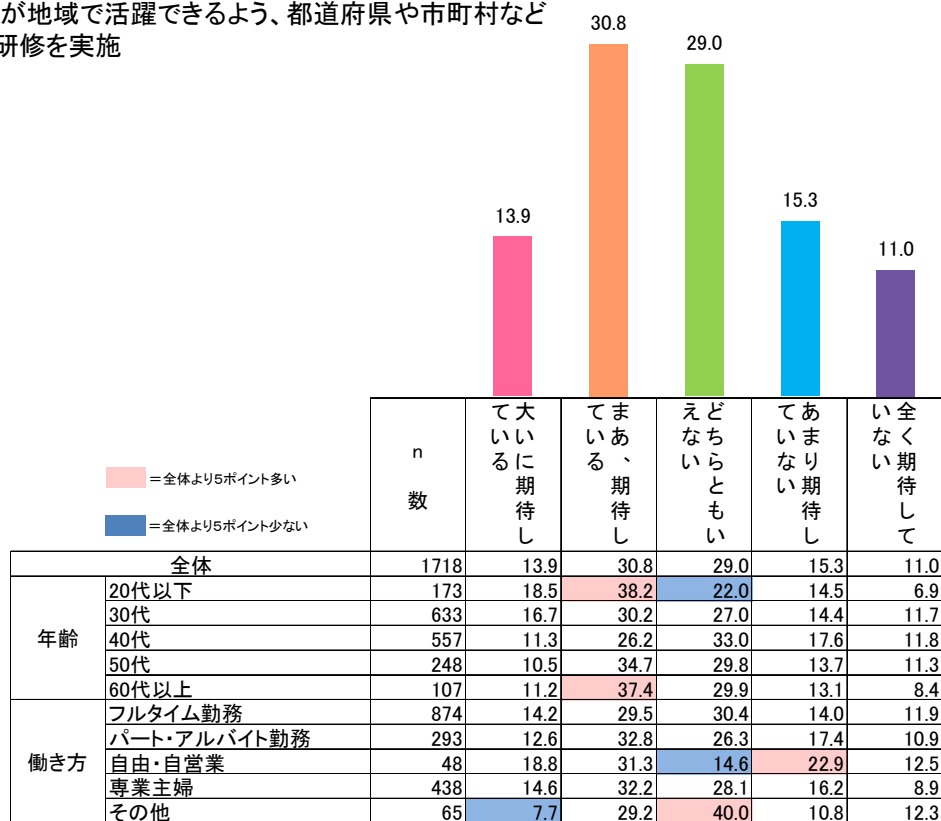
Q2-9 在宅ワークに関する総合支援サイト (HOME WORKERS WEB)

在宅ワークを始めたい方へ役立つ情報を提供

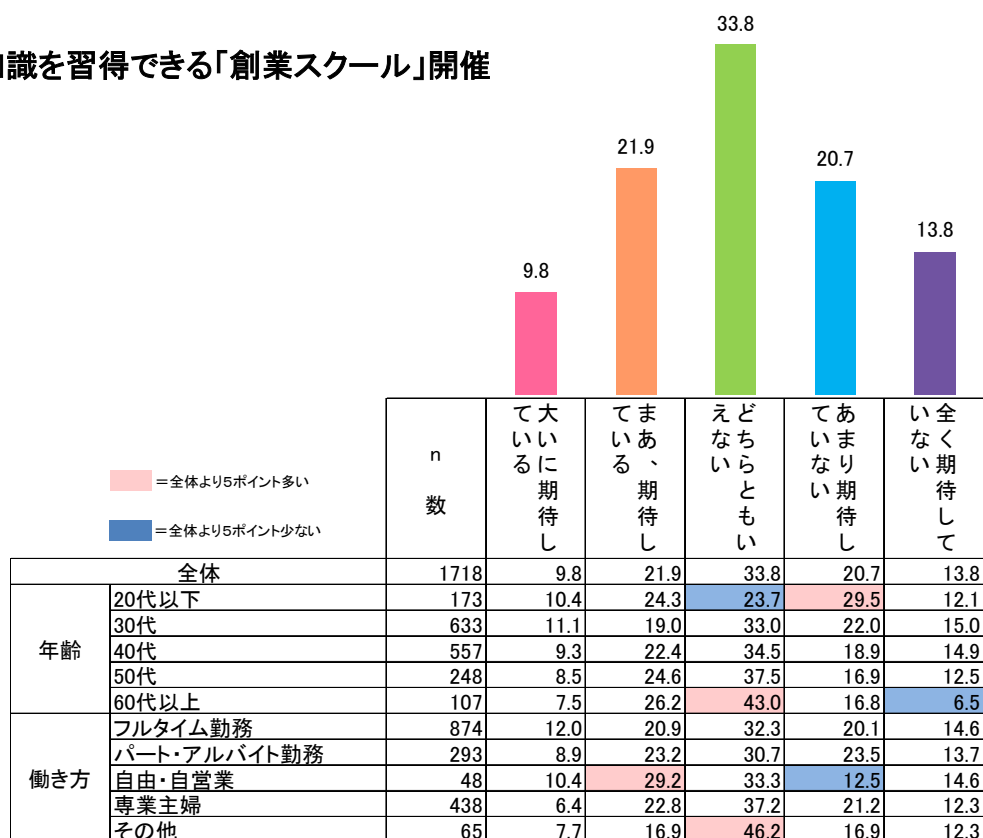


Q2-10 子育て経験等を活かした「子育て支援員」研修

子育て経験豊かな人が地域で活躍できるよう、都道府県や市町村などで「子育て支援員」の研修を実施

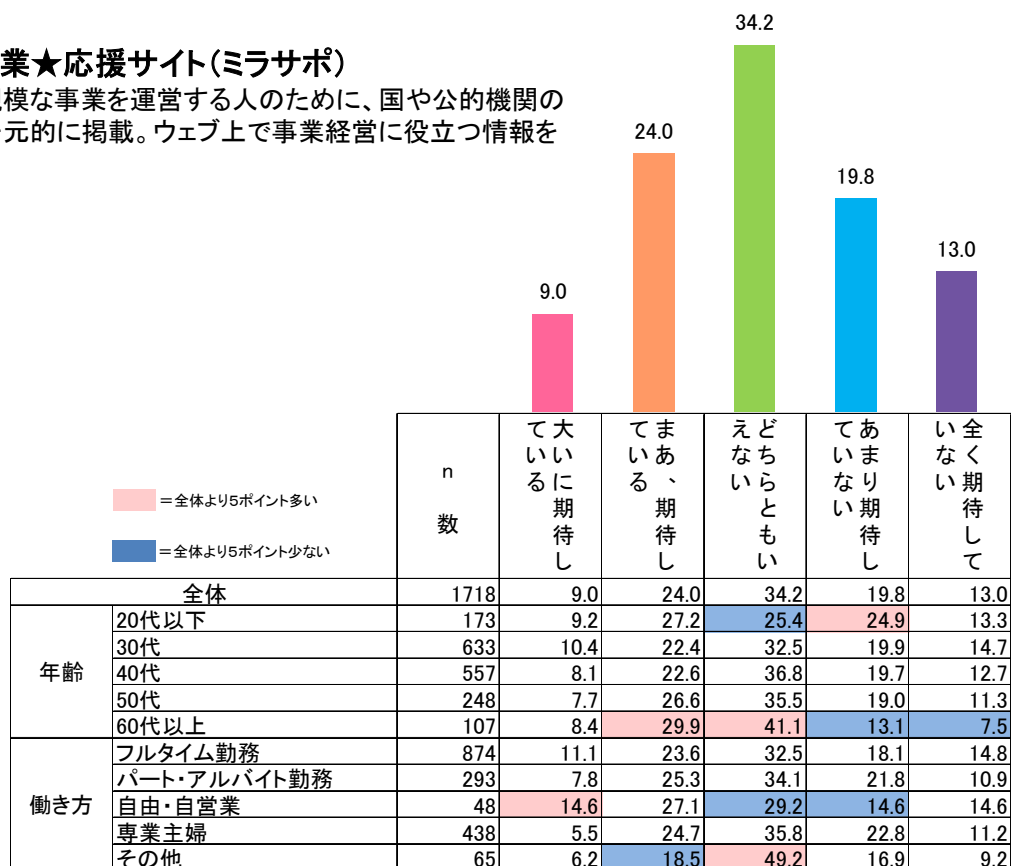


Q2-11 起業の知識を習得できる「創業スクール」開催



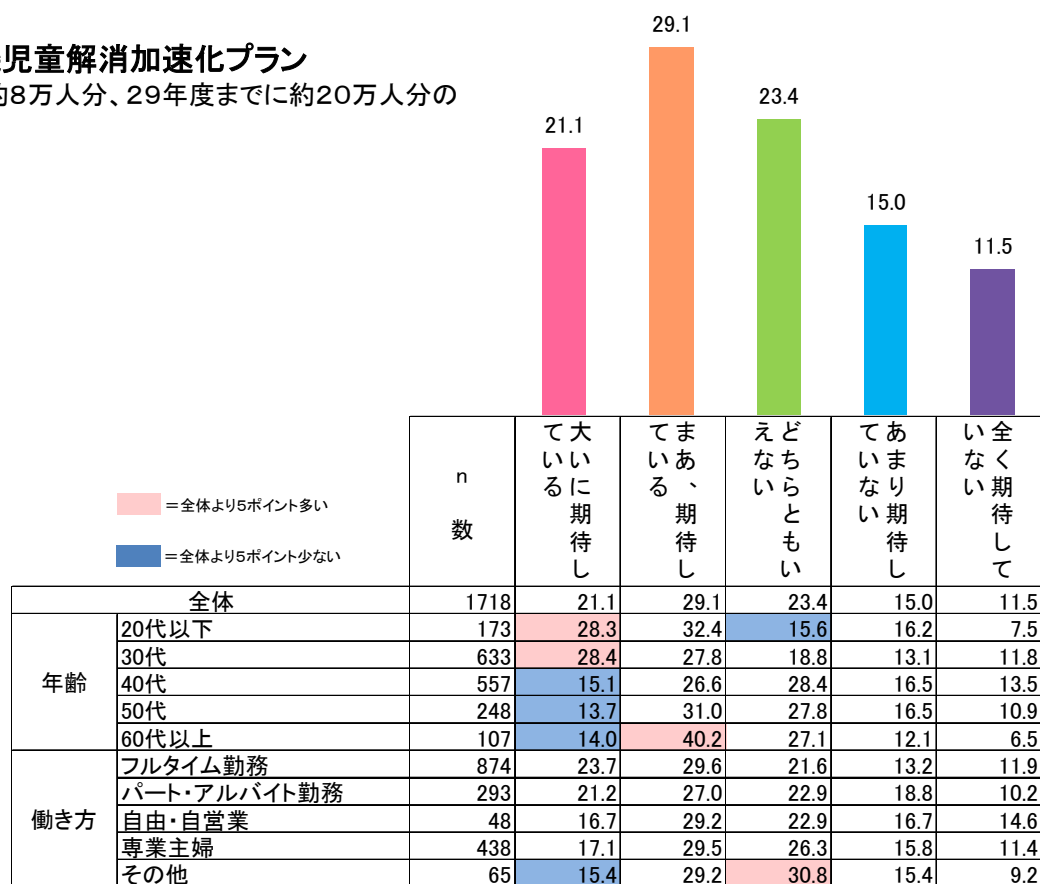
Q2-12 未来の企業★応援サイト(ミラサポ)

起業したい人や小規模な事業を運営する人のために、国や公的機関の補助金情報などを一元的に掲載。ウェブ上で事業経営に役立つ情報を得られる



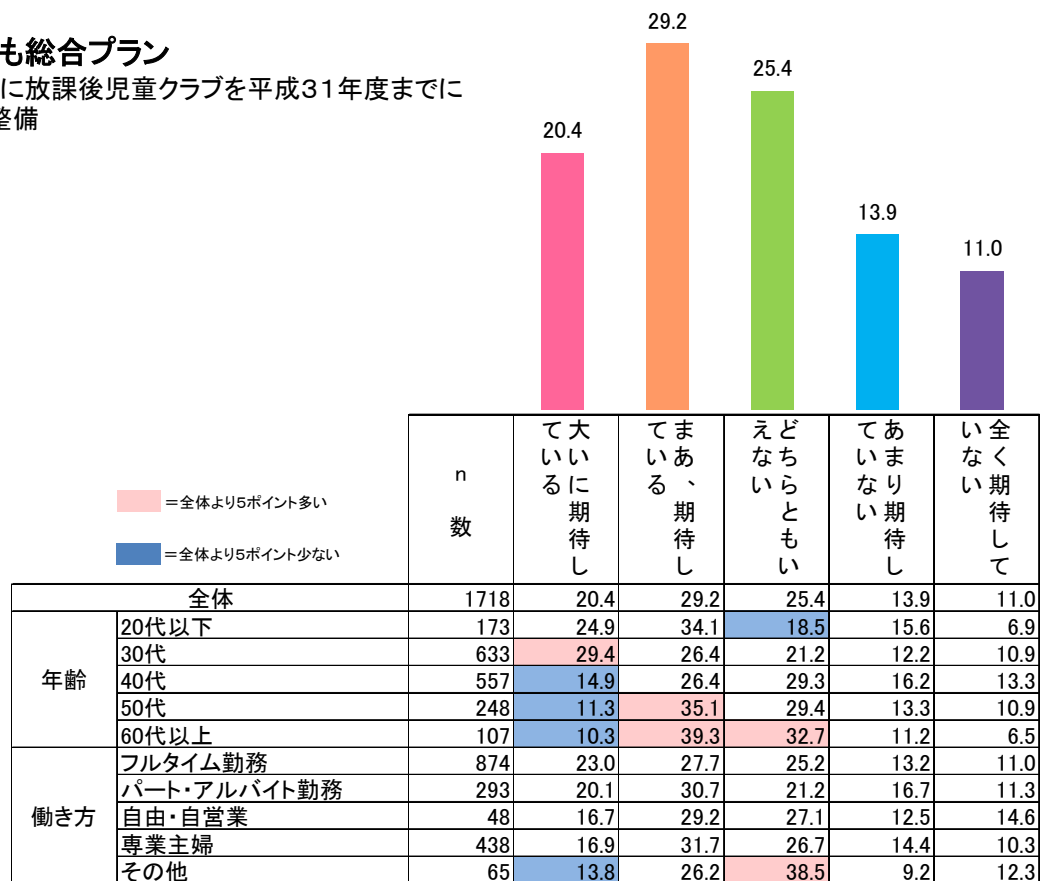
Q2-13 保育の待機児童解消加速化プラン

平成27年度はプラス約8万人分、29年度までに約20万人分の受け皿を新たに用意



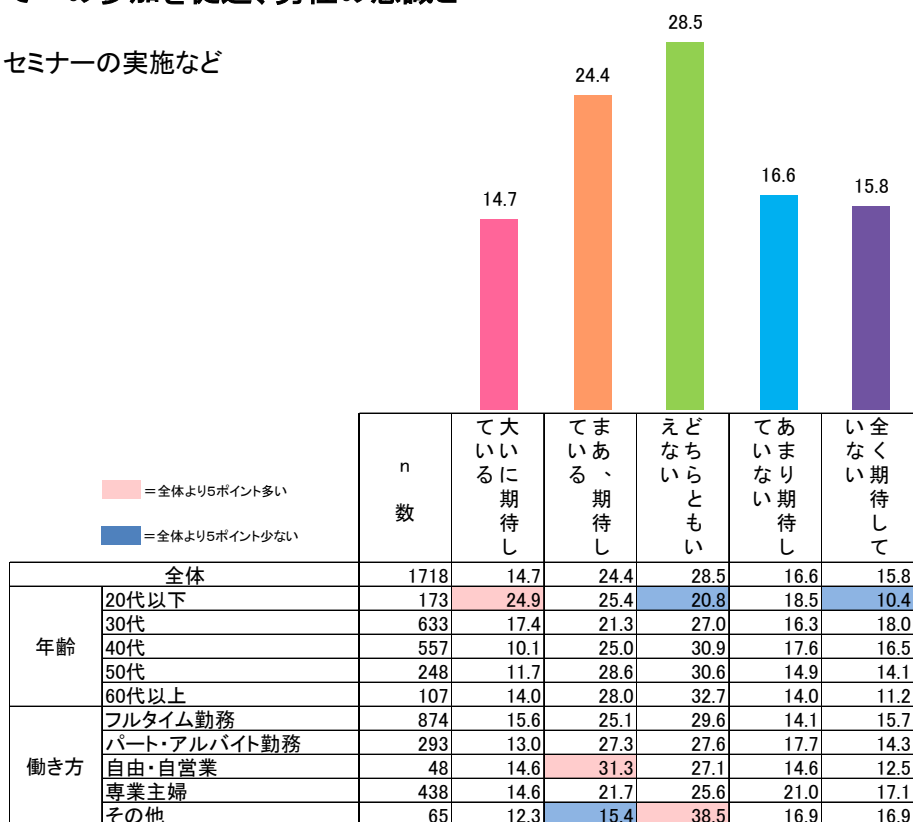
Q2-14 放課後子ども総合プラン

「小1の壁」打破のために放課後児童クラブを平成31年度までに約30万人分を新たに整備



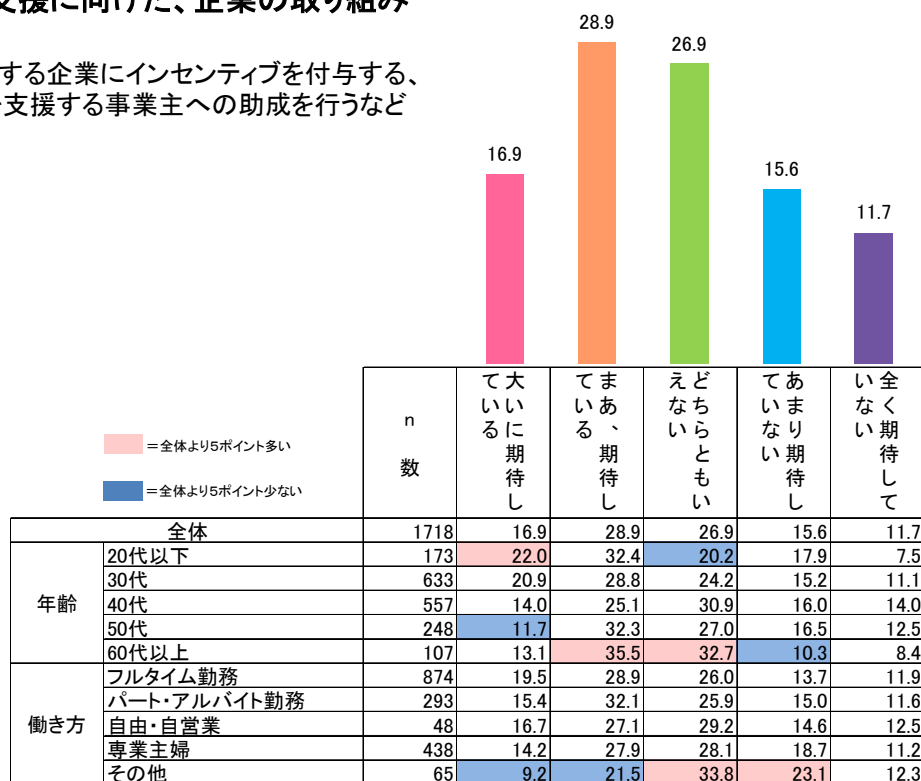
Q2-15 男性の家事・子育てへの参加を促進、男性の意識と職場風土の改革

イクメン・イクボスなどの表彰、セミナーの実施など



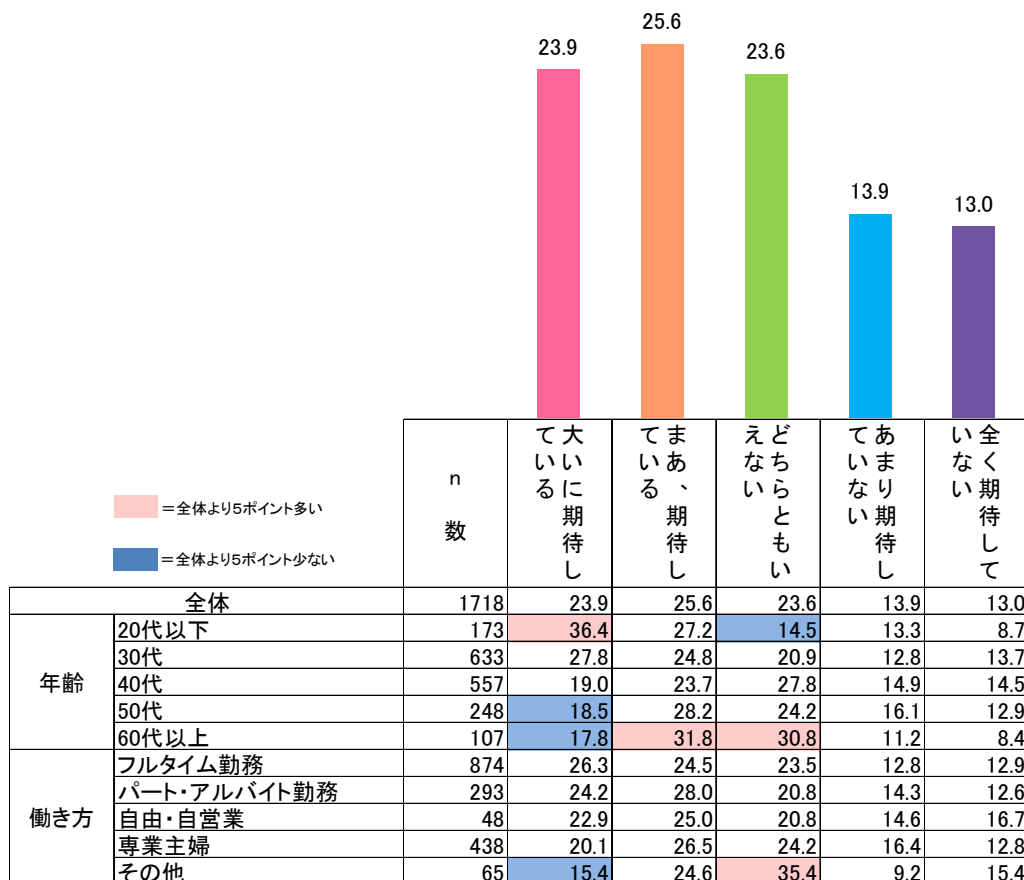
Q2-16 仕事と家庭の両立支援に向けた、企業の取り組みを促進

両立を支援し女性の活躍を推進する企業にインセンティブを付与する、育休の取得や育休からの復帰を支援する事業主への助成を行うなど



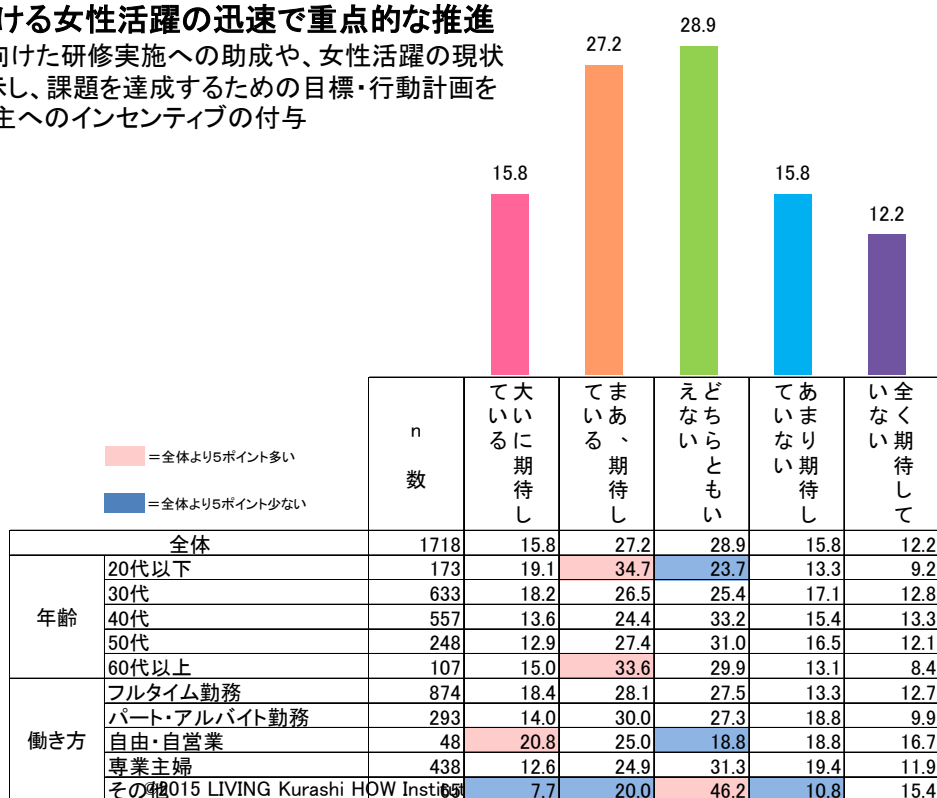
各施策についての期待度（年齢別・働き方別）

Q2-17 妊娠・出産などによる、不利益な取り扱いが起らない職場づくり

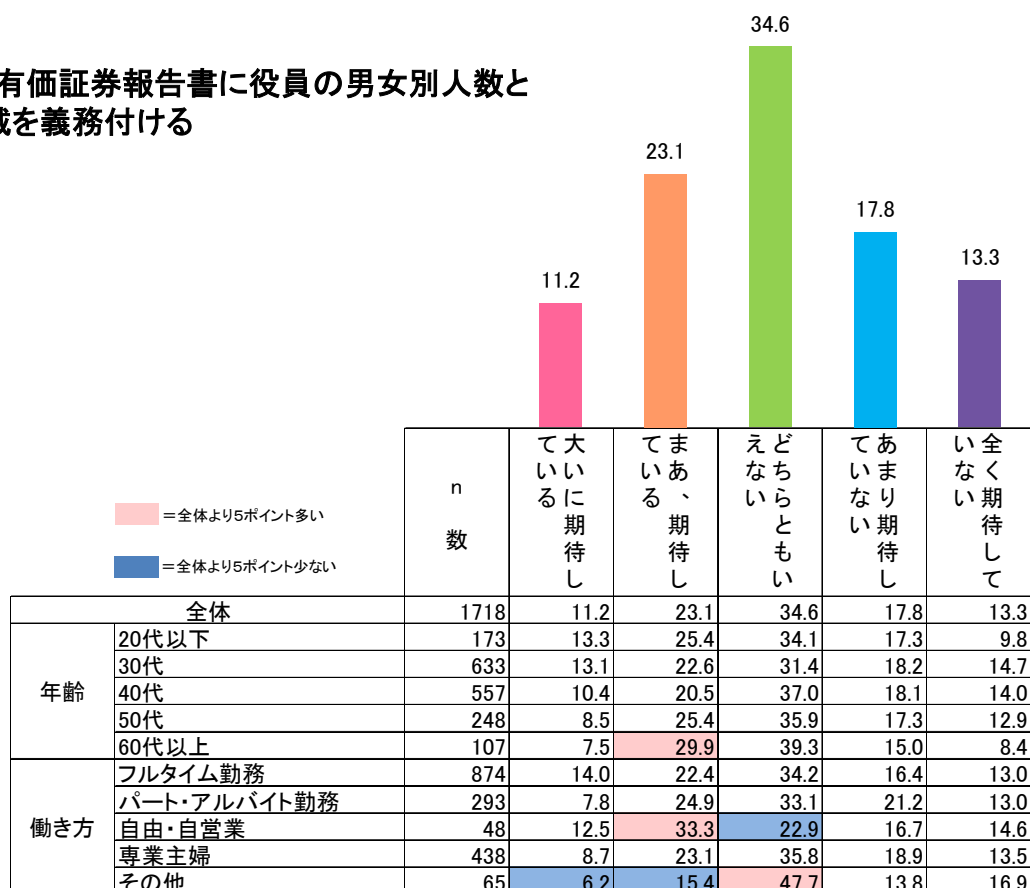


Q2-18 企業における女性活躍の迅速で重点的な推進

女性管理職登用に向けた研修実施への助成や、女性活躍の現状の実態や情報を開示し、課題を達成するための目標・行動計画を策定・公表した事業主へのインセンティブの付与

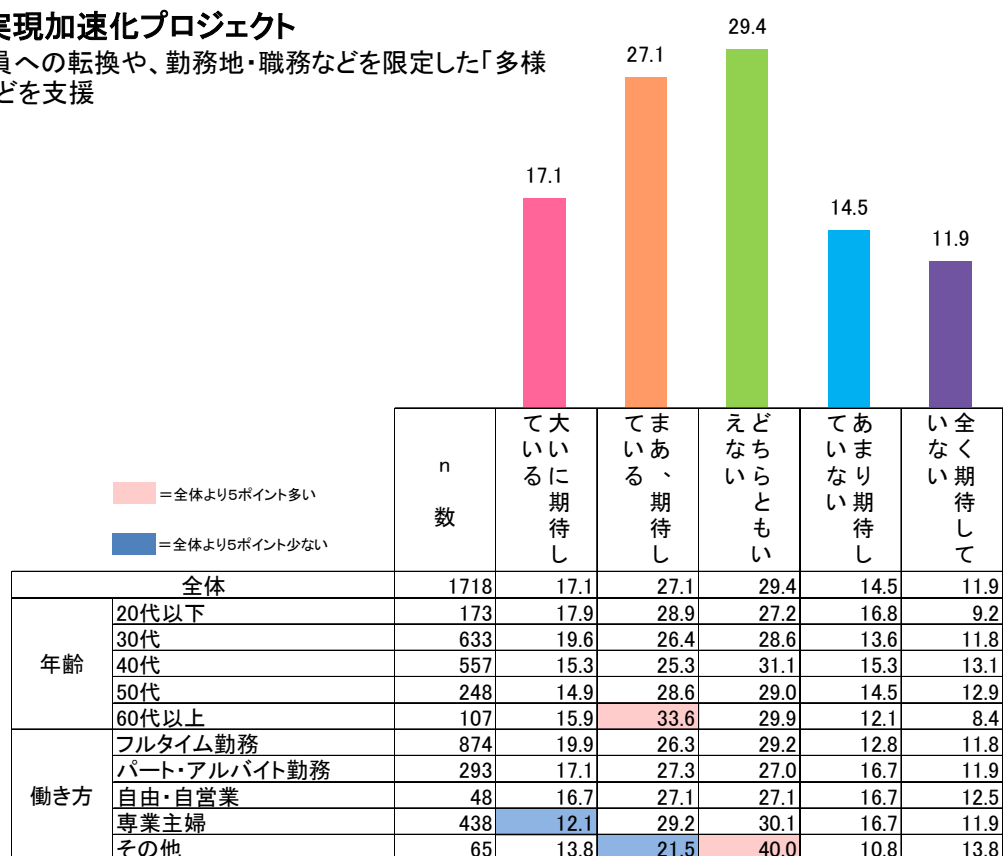


Q2-19 企業の有価証券報告書に役員の男女別人数と女性比率の記載を義務付ける



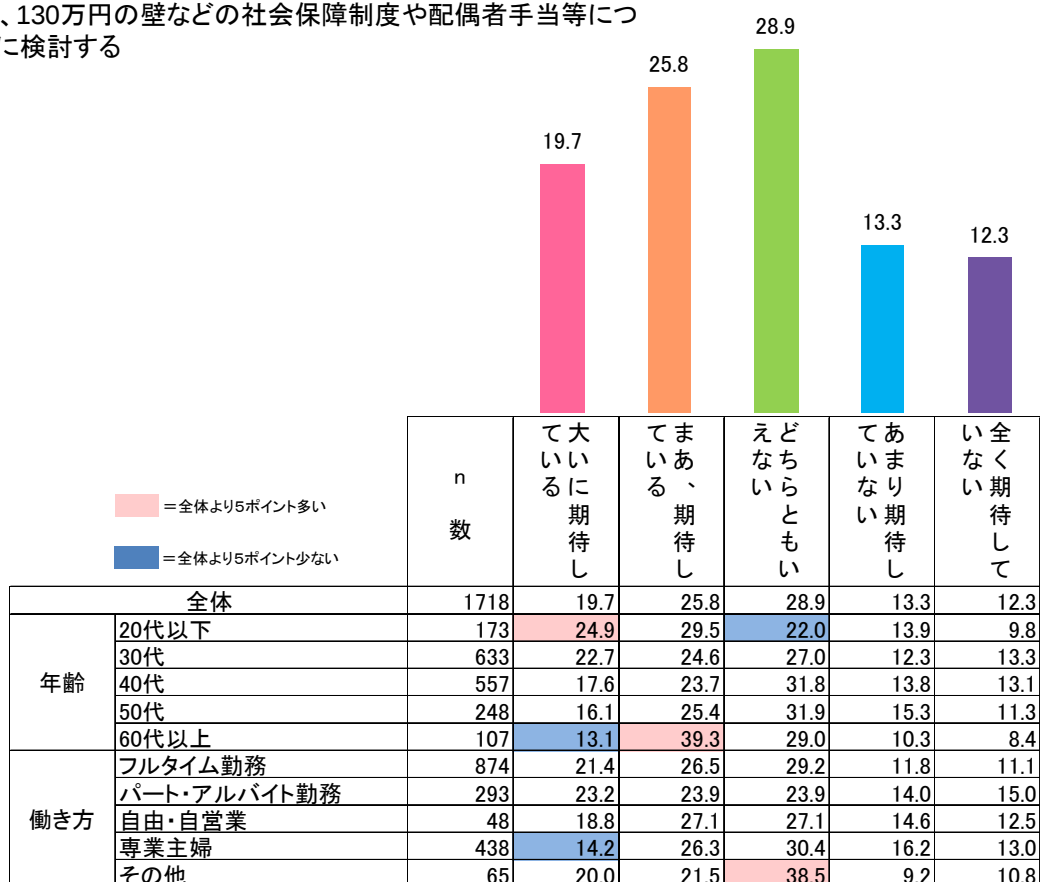
Q2-20 正社員実現加速化プロジェクト

派遣労働者の正社員への転換や、勤務地・職務などを限定した「多様な正社員」の導入などを支援



Q1-21 働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し

103万円の壁、130万円の壁などの社会保障制度や配偶者手当等について、総合的に検討する



“税制・社会保障制度の見直し”への注目率が高い

もっと知りたい取り組み(施策)の上位項目は、右表のとおり。トップは「働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し」で、その理由は賛成・反対の両側面から多数の意見があがっている。

「待機児童解消加速化プラン」「放課後子ども総合プラン」には切実な声が多いが、保育士人材や場所の確保をどうするのか、保育・育児の質の低下をどう防ぐかなど、プラン実現のための具体策を知りたいという意見が見られる。

働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し 103万円の壁、130万円の壁などの社会保障制度や配偶者手当等について、総合的に検討する	68
保育の待機児童解消加速化プラン 平成27年度はプラス約8万人分、29年度までに約20万人分の受け皿を新たに用意	59
在宅ワークに関する総合支援サイト(HOME WORKERS WEB) 在宅ワークを始めたい方へ役立つ情報を提供	28
男性の家事・子育てへの参加を促進、男性の意識と職場風土の改革 イクメン・イクボスなどの表彰、セミナーの実施など	28
放課後子ども総合プラン 「小1の壁」打破のために放課後児童クラブを平成31年度までに約30万人分を新たに整備	23
正社員実現加速化プロジェクト 派遣労働者の正社員への転換や、勤務地・職務などを限定した「多様な正社員」の導入などを支援することができる	23

◆働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し

- ・とても中立的とは言えない状態をどう打破していくのか注目したい。(32歳/フルタイム勤務)
- ・130万円の壁にとらわれず仕事をして、収入を得たり自己実現をすることは女性にとっても社会にとっても有意義だと思うし、130万円の壁を利用して企業側が体よく女性を低賃金で動かしている側面もあると思うから。(60歳/パート・アルバイト)
- ・専業主婦を締め上げるための政策に見えるため。専業主婦の殆どは、社会に出て働きたくても、小さい子供や介護でやむを得ず専業主婦をしているのに、まるで社会に出て働かず税金を納めていない専業主婦を排除するような政策は残念です。小さい子供がいたり、介護しながら働ける雇用をもっと増やすのが先だと思います。(39歳/専業主婦)
- ・介護などで働けない人はどうなるのか(45歳/専業主婦)

◆待機児童解消加速化プラン

- ・これから、働く女性が増えると見込まれる中で、どのようにして適切な保育を行うことのできる人材や場所等を確保するのか知りたいと思ったため(35歳/パート・アルバイト勤務)
- ・保育士の給与が上がらないのにどのように待機児童の解消をするのか知りたい。(31歳/フルタイム勤務)
- ・子供は欲しいですが住んでいる市の保育所の数も募集も少なく、考えてしまいます。会社で働き続けるには保育所は必要不可欠ですが市役所を頼っていると、ひとつの保育所あたりの新規は10名とかそんなレベル。しっかりこの街で子育てできるか不安で、保育士の拡充を含めて国の支援策が急務と感じるからです。(30歳/フルタイム勤務)

◆在宅ワークに関する総合支援サイト

- ・興味がありますが、WEBで見ても見にくい情報ばかりでした。もっと利用する個人と企業にうまく発信してほしい。(38歳/専業主婦)
- ・妊娠中や子育て中に在宅ワークなら実現できそうだが、セキュリティや仕事の依頼方法等で民間企業は煩雑になるから在宅ワーク市場はあまり充実しないと思う。行政はどう考えているのか、行政が進んで在宅ワークを取り入れることができるか知りたい。(37歳/専業主婦)

◆男性の家事・子育てへの参加を促進、意識と職場風土の改革

- ・どんな企業が取り組みに熱心か、どの様な取り組みをしているのかを知りたい。おそらく恵まれた一部の企業のみで、それも奥さんが専業主婦なので、育児をちょっと「お手伝い」しているだけ、というのが実態ではなかろうか？ 中小企業ではとても男性が育児休暇を取れる余裕がないし、我が家の様にフルタイム共働きだと、男性が「お手伝い」程度に育児を考えていたのでは女性の負担が増えるだけ。本当に意味のある取り組みかどうかを知りたい。(41歳/フルタイム勤務)
- ・自称イクメンが多いような印象があります。(毎月1度、天気の良い日曜日の数時間だけ面倒を見ただけでイクメンなど…)女性から見て本当にイクメンなのか判断する機会を頂けたら嬉しいです。(29歳/その他)

◆放課後子ども総合プラン

- ・放課後を見てくれるのは良い取り組みだと思うが、働く人の質も確保しないと不安。地域の保護者や老人会の方を雇っても、子育てを経験しているとはいえ、専門性がないので子どもを見る視点が違う。(33歳/フルタイム勤務)
- ・小1の子供を持つ女性が次々と会社を退職しているので。(35歳/フルタイム勤務)

◆正社員実現加速化プロジェクト

- ・派遣労働者から正社員への転換は自分のところの会社でもありますが、＜勤務地・職務などを限定した「多様な正社員」の導入＞ということが気になりました。私は転勤をしたくないため、専門職や基幹職を敬遠していますが、勤務地が限定されているならば色々な可能性が開け、やりがいがありそうで良いと思います。(30歳/フルタイム勤務)
- ・女性は家庭の事情でパート労働が多いと思いますが、夫に何かあった時にすぐ収入が減ることになります。不安定な状況では子供に十分な教育を受けさせることもできなくなります。能力のある女性はたくさんいます。企業の人件費の都合だけではなく、是非女性を正社員で活用してほしいです。(56歳/パート・アルバイト)

社会全体、男性、企業、それぞれの意識や風土改革を求める意見が多数

「女性活躍推進策」への意見を自由に記述してもらったところ、上位項目としては社会風潮・男性意識・企業意識の改革、中小企業のバックアップ、子育てだけではなく介護などへの支援、各施策の確実で迅速な実現、より積極的な広報を求める声に大別される。

働き続ける中、厳しい現実を経験しているフルタイム勤務者の回答率が最も高く、その内容も厳しいご意見が多くなっている。

◆社会風土、働き方の改革

- ・「女性活躍」のためと言いつつ、一方で中学校給食を実施していない自治体があり、「手作り弁当は親の愛情」と共働き親を追い詰めるようなことを言っているようでは、女性の負担が増えるばかりであり女性の社会進出など難しいと思う。「外で働け」という一方、「家事育児も完璧に」と求める風潮が時代遅れ。（41歳/フルタイム）
- ・この取り組み自体はとても良いとは思いますが、女性の雇用を確保するだけでなく、同時に世の中(特に男性)の根本的な価値観の見直しも必要なのでは…。やはり日本ではまだまだ「男は仕事・女は家事育児」という考えが根深いので、イクメンの表彰やセミナーといった付け焼き刃のような政策ではなく、働く女性に理解を示せる人が1人でも増えるような、日本全体のゆとりが必要だと感じました。（37歳/専業主婦）
- ・女性活躍、女性の仕事復帰という部分だけがクローズアップされているが、実際は子育ても家事も介護も仕事もすべて女性の仕事になり、負担が増えるだけのような気がしてならない。単にフルタイムで働く、役職をつけるなどではなく様々かつ柔軟な働き方ができるような仕組みを作ってほしいと思う。（34歳/フルタイム）
- ・政府の取り組みは総合的には評価しています。さらに女性活躍を推進するには男性の意識改革も必要なのでそのあたりのフォローを政府にはお願いしたいです。また時短で仕事の効率をアップさせる方向にすべての人が向くべきだと思います。そもそも女性をもっと活躍するには、残業を長くした人が一番評価されるという日本の会社の仕組みのそのものを変えることが必要なので、今後、男性、女性問わず、時短の取り組みを政府も推進して行ってほしいです。（47歳/フルタイム）

◆男性の意識改革

- ・特に中年の男性の意識改革が必要だと思う。今後に向け、学校でも意識改革を教えるべきだと思う。（63歳/専業主婦）
- ・政府がいくら女性を起用しようとしても、まだまだ古くさい考えの男性が多いので、いろいろなことが改善できるようになるのは時間がかかるような気がする。まず政治家がお手本を見せてほしい。（50歳/フルタイム）
- ・女性活躍推進の取り組みを支える男性の意識改革に着手しているのか、疑問を感じる。男性の意識改革なくして女性活躍の推進はなされないと思う。（31歳/フルタイム）
- ・政府が取り組みを掲げて、実際に働いている男性の意識を変えないと女性は働きづらいままだと思うので、もっと男性の認識を変えていくプログラムも作ってほしい。（43歳/専業主婦）

◆企業内の意識改革、中小企業のバックアップ

- ・前向きではなく体裁だけを整える会社も多いと思う。女性をどんなに管理職に登用したとしても、給料の格差等は相変わらず。雑用に関しても女性がするものだと当たり前のようになっているのが現状。イクメンを表彰するというような状況は、情けないと思う。いろいろな点で、男性の意識を変えられるまでに数十年はかかるものと思われ、期待はできない。（42歳/フルタイム）
- ・どれも大企業向けと感じる。本当に小さい企業でも負担なく実行できる施策、サポートが必要であると考え。自社で取り組み可能な企業は既に実施しているであろうし、出来ない会社こそサポートを真剣に考えてほしい。（52歳/パートアルバイト）
- ・職場は、男性約50人、女性約150人で女性は殆どが20～30代です。数年前までは、女性は結婚や妊娠を機に退職していました。3年ほど前に育休を使い復帰してきた人を見習い、昨年度は退職者と復帰予定者が半々くらいになった印象です。ただ女性全体の1割程が妊娠したことにより、業務に支障が出てきました。妊娠はめでたい事ではあるけれど、現状は周りの負担が大きく会社も快くは思わないため、結婚すると「妊娠しないでよ」と冗談かもしれませんが上司に言われたりもしました。妊婦1人につき会社に補助金を出すなど少しでも負担を減らしてもらえると、妊娠が本当におめでたいものに近づくと思います。（35歳/フルタイム）
- ・産休、育休中の社員のいる会社に政府負担で代替の要員を派遣する事業をしてほしい。小さい企業にこそ効果があると思う。派遣する人材は、出産後の復職支援のためのハローワークからの派遣のような形だと、もっといいと思う。（30歳/フルタイム）

◆子育てだけではなく介護や、子育て女性をフォローする周囲の支援

- ・我が社もなでしこ認定されていますが、子育て後の復帰者、再雇用者に対する処遇が優遇されていて、休みなく働き続け貢献してきたのに、またその人達の中途半端な仕事のフォローをしていて馬鹿らしいと感じる事があります。マイノリティは仕方ないのでしょうか。（46歳/フルタイム）
- ・女性の活躍推進施策はよいことではありますが、それにより負担がかかる人が出ないように誰にでもWIN-WINになるように平等なものにしてほしい。（43歳/フルタイム）
- ・女性の活躍推進…というが子供のいる人（子育て中）ばかりの取り組みが多いと思う。独身女性や独身で親の面倒を見ている人に対する対策は、あるのだろうか？（58歳/その他）
- ・計画できる子育て世代よりも、親や兄弟姉妹の介護など計画不可能なやむを得ない状況におかれた人の救済支援が欲しいです。能力はあるのに、介護しなければならない働き世代がもったいないです。これからますます高齢化が進むにつれて、経験も積んで一番の働き盛りで、働けるのに故郷や自宅にひっこまざるを得ない人が増えると思います。（36歳/フルタイム）
- ・子育て支援も大切だけれど、介護支援もなんとかしてほしい。介護で離職する人が多いのだから。（52歳/パート・アルバイト）

◆各施策の確実で迅速な実現

- ・キャッチフレーズだけ一人歩きして、実体が伴わない印象を受けます。どの取り組みでもいいので、目に見えるくらい加速度的に推進してほしいです。（30歳/フルタイム）
- ・具体的にそれぞれをどのくらいの期間で、どのような施策で取り組むのかが見えていないため、これだけの案件を掲げてても全部は推進できないと思います。また企業の経営側への働き掛けをどのようにするかが重要と考えます。（47歳/フルタイム）
- ・声やスローガンだけを上げて、実際にどれだけ動いて実現できるかがいつも中途半端に終わっているように思えるので、定期的に結果を報告してもらいたい。（50歳/専業主婦）

◆より積極的な広報を

- ・こういう女性活躍推進の情報はどこで発信されるのでしょうか。ネットで検索するときのキーワードがよくわかりません（あまり使わない言葉なので）。アナログかもしれませんが、ポスターや女性が多くいくイベント、ネットカフェ等、安定した仕事を求めている人が気づきやすいところにあるといいのでは？（41歳/フルタイム）
- ・知らないことが多かった。どこに行けば、どのようにすれば情報を得られるのかももっと発信するべき。せっかくなのにもったいない！（31歳/フルタイム）
- ・このアンケートで初めて知った政策が多すぎる。育児中の女性は子供に手がかかるのでテレビも見ないし新聞も読まないしネットもあまり見ない人が多いと思う。どの政策も広報の仕方が問題だと思う。児童館や商店街にポスター掲示できないだろうか。（31歳/フルタイム）
- ・今回このアンケートで知った内容が多いので、もっと全面的に国民一人一人が認識しやすい様に内容についてアピールしてほしいと思いました。（37歳/フルタイム）
- ・とにかく、分かりづらい。項目と進度がまとまったサイトは作成されているのか？（38歳/フルタイム）
- ・実際の取り組みから、それが向上できているのかという実感や実際の話をもっと情報として提示したり、周囲の意見の実際を提示して、協力の必要性を得るべきではないかと思う（35歳/フルタイム）